



Storyteller tells the Story  
物語コーポレーション

# Smile & Sexy

素敵に自由に、正々堂々と



第55期

## 定時株主総会 招集ご通知

### 日時

2024年9月25日（水曜日） 午前10時  
受付開始予定時刻：午前9時15分

### 場所

愛知県豊橋市花田町西宿  
ホテルアソシア豊橋 5階  
「ザ ボールルーム」

※末尾の株主総会会場ご案内図をご参照ください。

### 書面またはインターネットなどによる議決権行使期限

2024年9月24日（火）午後6時まで  
※詳細につきまして、8頁をご確認ください。

### 議案

|       |           |
|-------|-----------|
| 第1号議案 | 剰余金の処分の件  |
| 第2号議案 | 取締役7名選任の件 |
| 第3号議案 | 監査役1名選任の件 |

### 目次

|                 |    |
|-----------------|----|
| ごあいさつ           | 1  |
| 第55期定時株主総会招集ご通知 | 6  |
| 株主総会参考書類        | 10 |
| 事業報告            | 23 |
| 連結計算書類          | 48 |
| 計算書類            | 50 |
| 監査報告            | 52 |

# Smile & Sexy

私たちは  
“Smile & Sexy”  
すなわち  
素敵に自由に  
正々堂々、人間味豊かに  
それぞれの『自分物語』  
みんなの『会社物語』  
を語る  
Storyteller：語り部  
でありつづけます

代表取締役社長

加藤 央之



## 私たちの経営理念 「Smile & Sexy」

「Smile & Sexy」(スマイル アンド セクシー) を端的に表現すると「自立した人間は素敵であり、自ら意思決定ができる」というものです。この実践こそ当社の強みである「人財力」の源泉であり、物語コーポレーションが厳しい環境変化に対応し、勝ち抜くための底力であると考えています。

## ごあいさつ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「第55期定時株主総会招集ご通知」をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

2024年6月期の外食業界は回復基調が継続したものの、原材料価格・光熱費等の上昇や物価高による消費者の節約志向の高まりなど、厳しい事業環境でありました。こうした中、当社グループの売上向上施策として既存店舗の内外装の積極的な改装、看板商品の磨きこみ、サービス力の強化等、他社とのさらなる差別化を図るとともに顧客体験価値の向上に注力し、4期連続の増収増益となりました。

これもひとえに、株主の皆様の温かいご支援の賜物と深く御礼申し上げます。

## ■ Top Interview

### ● 2024年6月期を振り返って

#### 中期経営計画「ビジョン2025」の目標である グループ店舗売上高\*1,500億円を 1年前倒しで達成しました。

当社グループは、「選ばれるブランドづくり（No.1戦略）」「成長を加速させる新業態開発」「海外事業の展開加速」という3つの成長戦略を掲げて事業を推進しています。

人口減少と競争激化が進む国内の外食市場で成長を持続させるためには、各部門におけるシェア拡大が不可欠です。このシェアを上げるための取り組みが、「選ばれるブランドづくり（No.1戦略）」です。魅力的な商品やサービス、接客によってお客様に価値を感じていただけるお店をつくり、愛され選ばれるブランドになることが何より重要です。『焼肉きんぐ』『丸源ラーメン』『寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵』は認知度の向上により業容拡大をけん引し、『お好み焼本舗』は今後の拡大に向けたフォーマットおよび収益性の改善が進みました。各部門でNo.1戦略を着実に推進することができたと考えております。

成長を持続させるには、主力ブランドが伸長しているうちに、次の成長エンジンとなる「新業態開発」を行う必要があります。昨年には当社初の

郊外型カフェ&ショップ業態『果実屋珈琲』や濃厚な中華そばと餃子が名物の『濃厚中華そば 餃子 丸福』の1号店をオープンしました。今後の拡大を見据え、順調にフォーマット改善を重ねております。また、焼肉のファストカジュアル業態『焼きたてのかるび』は2021年の初出店から現在までに店舗数を20店舗以上に拡大しており、今後も積極的な出店を継続し、成長フォーマットとしての完成度をさらに高めていく予定です。

海外事業では、中国・上海で展開するハンバーグ専門店『肉肉大米』が好調に推移し、中国・深

#### 中期経営計画「ビジョン2025」

##### 日本・海外における 「業態開発型リーディングカンパニー」の実現

#### 重点戦略

- ① 既存ブランドの事業拡大と収益性向上
- ② 新業態・新事業を日本、海外でチャレンジ
- ③ 多様な理念型人財の採用
- ④ 個の覚醒を促すD&Iと人財育成の推進
- ⑤ 新たな価値創造を加速させるDXと本社機能強化の推進
- ⑥ サステナビリティの推進

## ■ Top Interview

圳など新エリアにも出店しました。また、インドネシアでは『焼きたてのかるび』をローカライズした『Yakitate KALBI』を4店舗出店しました。

これらのブランドを海外におけるヒットフォーマットに育て上げるため、改善を進めていきたいと考えています。

以上の3つの成長戦略を推進した結果、当期は4期連続の増収増益となりました。また、当初掲げた2025年6月期に達成を目指していたグループ店舗売上高1,500億円の目標を1年前倒しで達成することができました。

当期の増収増益は、成長戦略の遂行と人財力の向上に取り組んだ成果だと捉えています。グループ店舗売上高は二桁成長を継続しており、今後もこの成長を堅持していきたいと考えています。それを支えるのが、当社の強みである「開発力」と「人財力」です。開発の原理原則を基軸にお客様のニーズを掴んで事業を拡大するとともに、業態の陳腐化を防ぎ、常に成長期の店舗を実現する改善を重ねてまいります。それにより、多くのお客様に愛され選ばれるブランドを生み出します。

また、人財力の強化に向けて、当社は中期経営計画の重点戦略のひとつに「多様な理念型人財の採用」を掲げています。性別や国籍など、属性の違いだけでなく、考え方や感性といった内面も含

めて「一人ひとりが違っていい」という考え方が基軸にあります。社員一人ひとりが自分らしく、自分の意見を自由に言える環境をつくることで、自由闊達な議論が起こり、議論が深まることで経営や開発が正しい意思決定に向かいやすくなります。さらに、説明責任を果たすことでリーダーが育つとともに、一人では考えつかなかったイノベーションが生まれやすくなる組織風土がつくられます。だからこそ、「自分はこうしたい」「こういう生き方がしたい」というビジョンを持ち、当社の経営理念「Smile & Sexy」に共感する「理念型人財」の採用が重要となります。

その「理念型人財」の「個」の力をさらに活性



化させるべく、社内の教育部門が実施する研修で理念の理解と実践を深め、ダイバーシティ&インクルージョンを基盤とした議論文化と成熟・自立した開発型リーダーを育てる組織風土づくりを進めています。

さらに、価値創造を加速させるための環境整備として、DX推進や本社機能の強化にも取り組んでいます。DX推進はコストダウンや効率化に貢献するだけでなく、省力化により生まれた従業員の余力をお客様満足度向上のために活かしていくことを目的としています。今後も「開発力」と「人財力」の向上に全力で取り組み、成長し続ける企業を目指します。

#### ● サステナビリティ経営のさらなる深化

### 私たちのサステナビリティ戦略の中心はダイバーシティ&インクルージョンです。

当社グループは、事業活動を通じて「豊かな社会」と「お客様に必要とされるブランド・会社」の両立を目指しています。

環境（E）については、環境法令・条例を遵守し企業活動を行うとともに、環境目標の設定および目標に対する進捗を積極的に開示し、透明性の



ある環境保全活動に努めています。その結果、ESGの対応に優れた日本企業の株式のパフォーマンスを示すインデックスである「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に初めて選定されました。

社会（S）については、人権と個の尊厳の尊重が未来世代と共有すべき地球環境の保全と不可分であると考え、お客様・株主様はもとより取引先様・従業員・社会の皆様と協働し、人権と個の尊厳が尊重される持続可能な社会を共創します。

## ■ Top Interview

特にダイバーシティ&インクルージョンは、サステナビリティの中心にあると考え、多様な価値観と個性を尊重する企業文化の形成に注力してまいります。

ガバナンス（G）については、サステナビリティ経営を支える経営体制の確立をテーマに、機動的な統治体制の構築や取締役会の実効性向上など、経営基盤の充実に向けて取り組んでまいります。さらに、役員・社員を問わず、全ての従業員が正々堂々・率直に意見を表明できる企業文化を創造し、企業の健全性をさらに高めてまいります。



### ● 株主の皆様へ

**「個」の力を最大限に引き出す経営で  
「開発力」と「人財力」をさらに高めてまいります。**

国内の外食業界は競争が激化し、今後の事業環境は一層の厳しさを増すと感じています。他社との差別化が図りにくい状況で、当社グループが独自の価値を創出していくためには、開発力と人財力のさらなる向上が必要不可欠です。

開発力を生み出し、育てているのは「人」であり、その人財力のベースとなっているのが、「個」の力を最大限に引き出す理念経営と企業文化です。

『「個」の尊厳を『組織』の尊厳より上位に置き、『とびっきりの笑顔と心からの元気』で世の中をイキイキさせる』という長期経営ビジョンのもと、一人ひとりが自己実現に向かって「自分物語」を歩むことで、自然と素敵な「会社物語」が生まれると考えています。

『個』を尊重し、その力を最大限に引き出す経営を通じて、当社グループの競争優位性を今後も維持・拡大してまいります。

株主の皆様には今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

株 主 各 位

証券コード 3097  
(発送日) 2024年9月5日  
(電子提供措置開始日) 2024年9月4日  
愛知県豊橋市西岩田五丁目7番地の11

株式会社 物語コーポレーション  
代表取締役社長 加藤 央之

## 第55期 定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第55期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面またはインターネットなどにより議決権を行使することができますので、お手数ながら株主総会参考書類をご検討のうえ、8頁の「議決権行使のご案内」に従って、2024年9月24日（火曜日）午後6時までに議決権を行使いただきますようお願い申し上げます。

敬 具

記

|      |                                                                                                                                                                                                      |
|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日 時  | 2024年9月25日（水曜日）午前10時<br>※なお、受付開始は、午前9時15分を予定しております。                                                                                                                                                  |
| 場 所  | 愛知県豊橋市花田町西宿<br>ホテルアソシア豊橋 5階「ザ ボールルーム」<br>※末尾の株主総会会場ご案内図をご参照ください。                                                                                                                                     |
| 目的事項 | <b>報告事項</b> 1. 第55期（2023年7月1日から2024年6月30日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件<br>2. 第55期（2023年7月1日から2024年6月30日まで）計算書類報告の件<br><b>決議事項</b> 第1号議案 剰余金の処分の件<br>第2号議案 取締役7名選任の件<br>第3号議案 監査役1名選任の件 |

以 上

- ◎当日ご出席の際は、お手数ながら議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。
- ◎当日ご出席される株主様へのお土産の配布を取り止めさせていただいております。何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。
- ◎本株主総会はインターネットによるライブ配信を行いますので、インターネットでの視聴もご検討くださいますようお願い申し上げます。ただし、インターネットによるライブ配信のご視聴からは議決権行使および質問などはできません。また、インターネットによるライブ配信のご視聴方法は、別紙をご参照ください。

## 電子提供措置に関するお知らせ

当社第55期定時株主総会の招集に際しては、株主総会参考書類などの内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上の当社ウェブサイトに掲載していますので、当社ウェブサイトアクセスのうえ、ご確認ください。

### 【当社ウェブサイト】

<https://www.monogatari.co.jp/ir/library/lib05/>

また、株主総会参考書類などの内容である情報（電子提供措置事項）は、東京証券取引所ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）にも掲載しています。当社ウェブサイトにおいて電子提供措置事項を閲覧できない場合には、東京証券取引所ウェブサイトアクセスいただき、銘柄名「物語コーポレーション」または証券コード「3097」を入力・検索し、「基本情報」、「縦覧書類/PR情報」を選択のうえ、「縦覧書類」にある「株主総会招集通知/株主総会資料」の情報をご確認ください。

### 【東京証券取引所ウェブサイト】

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>

電子提供措置事項に修正が生じた場合は、上掲の当社ウェブサイトおよび東京証券取引所ウェブサイトにてその旨、修正前の事項および修正後の事項を掲載させていただきます。

当社は、法令および当社定款第14条の規定に基づき、次に掲げる事項を書面交付請求をいただいた株主様に対して交付する書面（電子提供措置事項記載書面）への記載を省略しております。なお、監査役および会計監査人が監査した事業報告の内容および連結計算書類、計算書類は、当社ウェブサイトに掲載しております。

- ①新株予約権等に関する事項
- ②業務の適正を確保するための体制および当該体制の運用状況
- ③連結株主資本等変動計算書
- ④連結計算書類の「連結注記表」
- ⑤株主資本等変動計算書
- ⑥計算書類の「個別注記表」

## 議決権行使のご案内



### 株主総会へのご出席による議決権行使

議決権行使書用紙を会場受付にご提出ください。  
※末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照ください。

### 株主総会開催日時

2024年9月25日（水曜日）  
午前10時（受付開始：午前9時15分）



### 郵送による議決権行使

本招集ご通知とあわせてお送りする議決権行使書用紙に賛否をご記入いただき、ご返送ください。

### 行使期限

2024年9月24日（火曜日）  
午後6時到着分まで

## 議決権行使書用紙のご記入方法のご案内

議決権行使書  
〇〇〇〇〇〇〇 御中  
株主総会日 議決権の数 XX 股  
××××年×月×日

選挙日現在のご所有株式数 XX 株  
議決権の数 XX 股

1. \_\_\_\_\_  
2. \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_

ログイン用QRコード  
ログインID XXXX-XXXX-XXXX-XXXX  
パスワード XXXXX

見本  
〇〇〇〇〇〇〇

※議決権行使書用紙はイメージです。

こちらに議案の賛否をご記入ください。

#### 第1・3号議案

- 賛成の場合 >> 「賛」の欄に○印
- 反対する場合 >> 「否」の欄に○印

#### 第2号議案

- 全員賛成の場合 >> 「賛」の欄に○印
- 全員反対する場合 >> 「否」の欄に○印
- 一部の候補者に反対する場合 >> 「賛」の欄に○印をし、反対する候補者の番号をご記入ください。



## インターネット等による議決権行使

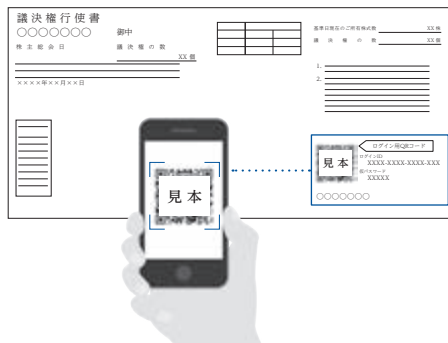
議決権行使サイトにアクセスし、画面の案内に従って賛否をご入力ください。

## 行使期限

2024年9月24日（火曜日）  
午後6時入力完了分まで

### QRコードを読み取る方法 (スマートフォン・タブレット等から)

- ① 議決権行使書用紙に記載のQRコードを読み取ってください。



※「QRコード」は株式会社デンソーウェアの登録商標です。

- ② 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

### 「ログインID」「仮パスワード」を入力する方法

- ① 議決権行使サイトへアクセス

<https://evote.tr.mufig.jp/>



- ② ログイン

議決権行使サイトにおいて、議決権行使書用紙に記載された「ログインID」及び「仮パスワード」をご入力いただき、画面の案内に従って議案の賛否をご入力ください。

- ③ 以降は画面の案内に従って賛否をご入力ください。

インターネット等による議決権行使で  
パソコンやスマートフォン操作方法などが  
ご不明な場合は、右記にお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ヘルプデスク  
0120-173-027  
(通話料無料／受付時間 9：00～21：00)

- ・機関投資家の皆様は、株式会社ICJの運営する機関投資家向け議決権電子行使プラットフォームをご利用いただくことが可能です。書面（郵送）およびインターネットなどの両方で議決権行使をされた場合は、インターネット等による議決権行使を有効な議決権行使としてお取り扱いいたします。また、インターネット等により複数回、議決権行使をされた場合は、最後に行われたものを有効な議決権行使としてお取り扱いいたします。
- ・議決権行使書面において、議案に賛否の表示がない場合は、賛成の意思表示をされるものとして取り扱わせていただきます。

## 株主総会参考書類 議案および参考事項

### 第1号議案 剰余金の処分の件

当社は、安定的な配当を継続することを基本とし、将来に向けた成長投資に利益を配分するとともに、株主の皆様への利益還元重視の姿勢をより明確にするため、連結配当性向20%以上を目安に、持続的な利益成長を通じた1株当たり配当金の安定的・持続的な増加を原則とする累進配当を目指してまいります。

以上の配当方針に基づき、当期の期末配当につきましては、次のとおり1株につき17円といたしたいと存じます。

株主に対する配当財産の割当に関する  
事項及びその総額

当社普通株式1株につき  
総 額

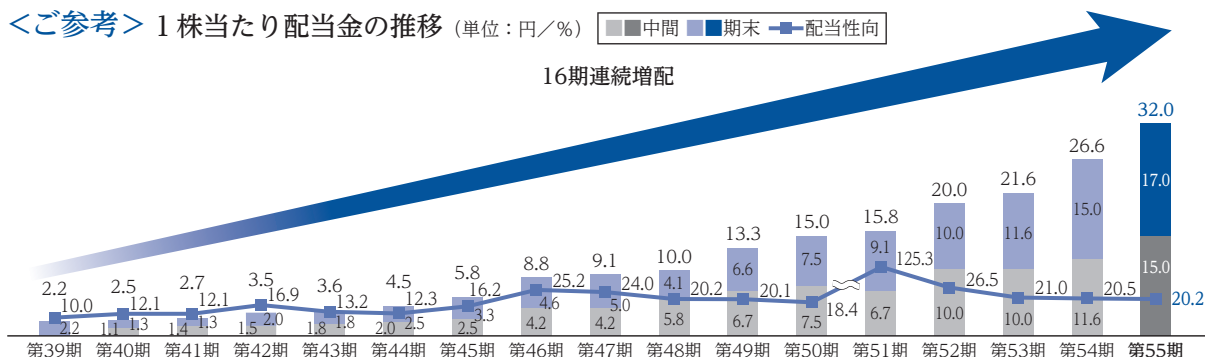
金17円  
606,172,009円

剰余金の配当が効力を生じる日

2024年9月26日（木曜日）

なお、中間配当として、1株当たり15円をお支払いしておりますので、年間配当金は1株につき金32円となり、通期において前期より5円34銭の増配となります（注）。

＜ご参考＞ 1株当たり配当金の推移（単位：円／％）



- (注) 1. 2010年12月1日付けで普通株式1株につき3株の分割を行っています。  
 2. 2021年3月1日付けで普通株式1株につき2株の分割を行っています。  
 3. 2023年3月1日付けで普通株式1株につき3株の分割を行っています。  
 4. 上のグラフでは、当該株式分割に伴う影響を加味した遡及計算値を示しています。

## 第2号議案 取締役7名選任の件

本株主総会終結の時をもって現任の取締役全員8名（うち社外取締役3名）が任期満了となります。つきましては取締役7名（うち社外取締役3名）の選任をお願いいたしたいと存じます。

取締役候補者は次のとおりであります。

（ご参考）本議案が原案どおりに承認された場合の取締役会の体制

| 候補者<br>番号 | 氏 名                | 年 齢<br>(性 別) |                   | 現在の当社における地位  | 取締役<br>在任年数 | 指名・報酬<br>委員会 |
|-----------|--------------------|--------------|-------------------|--------------|-------------|--------------|
| 1         | かとう ひさゆき<br>加藤 央之  | 38歳<br>(男性)  | 再 任               | 代表取締役 社長     | 4 年         | ○            |
| 2         | おかだ まさみち<br>岡田 雅道  | 46歳<br>(男性)  | 再 任               | 代表取締役 専務執行役員 | 6 年         | ○            |
| 3         | つでら つよし<br>津寺 毅    | 50歳<br>(男性)  | 再 任               | 取締役 常務執行役員   | 6 年         | —            |
| 4         | きむら こうじ<br>木村 公治   | 49歳<br>(男性)  | 再 任               | 取締役 上級執行役員   | 4 年         | —            |
| 5         | にしかわ ゆきたか<br>西川 幸孝 | 68歳<br>(男性)  | 再 任<br>社 外<br>独 立 | 取締役          | 7 年         | ◎            |
| 6         | やすだ か な<br>安田 加奈   | 55歳<br>(女性)  | 再 任<br>社 外<br>独 立 | 取締役          | 3 年         | ○            |
| 7         | くらしま かおる<br>倉島 薫   | 64歳<br>(男性)  | 再 任<br>社 外<br>独 立 | 取締役          | 1 年         | ○            |

(注) ◎印は委員長、○印は委員を示します。

候補者番号

1

かとう ひさゆき  
**加藤 央之**

1986年4月14日生（満38歳）

期待する分野



属性・委員会

再任  
指名

所有する当社株式数

15,421株

取締役在任年数

4年 ※本総会最終時

重要な兼職の状況

物語（上海）企業管理有限公司 董事  
Storyteller株式会社 代表取締役

出席率（2024年度）

取締役会 指名・報酬委員会  
100%（17回／17回） 100%（5回／5回）

取締役候補者とした理由

当社の代表取締役社長を務めており、経営者として当社グループに対する強いリーダーシップを発揮していることに加え、企業経営全般に対する知識と経験を有していることから、今後も当社グループの事業発展に十分に活かしていただけるものと判断し、引き続き取締役候補者として選任をお願いするものです。

略歴、地位および担当

2009年4月 当社入社  
2019年7月 お好み焼事業部事業部長  
2020年2月 業態開発本部本部長 兼 開発企画デジタルマーケティング部部長  
2020年7月 副社長 執行役員  
2020年9月 代表取締役 社長  
2021年1月 代表取締役 社長  
経営理念推進・CSR担当（現 サステナビリティ担当）

2023年7月 代表取締役 社長  
経営理念推進・サステナビリティ担当  
マーケティング担当  
2023年9月 代表取締役 社長 取締役会議長  
経営理念推進・サステナビリティ担当  
マーケティング担当（現任）

候補者番号

2

おかだ まさみち  
**岡田 雅道**

1977年11月7日生（満46歳）

期待する分野



属性・委員会

再任  
指名

所有する当社株式数

39,488株

取締役在任年数

6年 ※本総会最終時

重要な兼職の状況

物語（上海）企業管理有限公司 董事長  
Storyteller株式会社 代表取締役 社長  
PT. Agrapana Niaga Gemilang 取締役  
物語香港有限公司 取締役

出席率（2024年度）

取締役会 指名・報酬委員会  
100%（17回／17回） 100%（5回／5回）

取締役候補者とした理由

当社の代表取締役専務執行役員を務めており、グローバルマーケティング・営業統括、マーケティング担当などを歴任し、現在は海外事業や営業部門を管掌しております。また、外食業界における豊富な見識や幅広い経験に加えて、企業経営に關する知見を有していることから、今後も当社グループの事業発展に十分に活かしていただけるものと判断し、引き続き取締役候補者として選任をお願いするものです。

略歴、地位および担当

2001年11月 当社入社  
2011年2月 専門店事業部事業部長  
2013年1月 執行役員 専門店事業部事業部長  
2016年7月 執行役員 物語（上海）企業管理有限公司總經理  
2016年9月 上級執行役員  
2018年9月 取締役 専門店・新業態事業部事業部長  
2019年9月 取締役常務 専門店・新業態事業部事業部長

2020年7月 代表取締役 専務執行役員  
グローバルマーケティング・営業統括 新業態開発担当  
2021年7月 代表取締役 専務執行役員  
グローバルマーケティング・営業統括 マーケティング担当  
2023年7月 代表取締役 専務執行役員  
海外事業担当 営業担当 専門店・新業態事業部事業部長  
2024年7月 代表取締役 専務執行役員  
海外事業担当 営業担当 海外事業本部 本部長（現任）

候補者番号

3

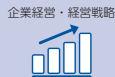
つでら つよし  
**津寺 毅**

1974年8月1日生（満50歳）

出席率（2024年度）

取締役会  
100%（17回／17回）

期待する分野



企業経営・経営戦略



IT・DX



財務・ファイナンス



内部統制・ガバナンス



サステナビリティ

属性・委員会

再任

所有する当社株式数

16,985株

取締役在任年数

6年 ※本総会終結時

重要な兼職の状況

物語（上海）企業管理有限公司 董事  
Storyteller株式会社 取締役  
PT. Agravana Niaga Gemilang  
コミサリス（監査役）  
物語香港有限公司 取締役

## 取締役候補者としての理由

当社の取締役常務執行役員を務めており、財務・成長戦略の管掌に加え、管理本部長を務めております。また、当社グループの成長戦略や財務、資本政策、広報・IR、管理本部における豊富な経験に加えて、企業経営に関する知見を有していることから、今後も当社グループの事業発展に十分に活かしていただけるものと判断し、引き続き取締役候補者として選任をお願いするものです。

## 略歴、地位および担当

1998年5月 当社入社  
2011年10月 成長戦略室室長  
2015年7月 執行役員 成長戦略室室長  
2016年9月 上級執行役員 成長戦略室室長  
2018年9月 取締役 財務・成長戦略担当 管理本部長 兼 成長戦略室室長

2020年7月 取締役 常務執行役員 財務・成長戦略担当  
管理本部本部長 兼 成長戦略室室長  
2021年7月 取締役 常務執行役員 財務・成長戦略担当  
管理本部本部長（現任）

候補者番号

4

きむら こうじ  
**木村 公治**

1975年3月16日生（満49歳）

出席率（2024年度）

取締役会  
100%（17回／17回）

期待する分野



企業経営・経営戦略



フランチャイズビジネス



人事・人材開発



マーケティング・MD



サステナビリティ

属性・委員会

再任

所有する当社株式数

44,927株

取締役在任年数

4年 ※本総会終結時

重要な兼職の状況

重要な兼職はありません。

## 取締役候補者としての理由

当社の取締役上級執行役員を務めており、F C事業・営業担当などを歴任し、現在はF C事業・店舗開発・立地開発、新事業開発を管掌しております。また、外食業界における豊富な見識や幅広い経験に加えて、企業経営に関する知見を有していることから、今後も当社グループの事業発展に十分に活かしていただけるものと判断し、引き続き取締役候補者として選任をお願いするものです。

## 略歴、地位および担当

1999年4月 当社入社  
2011年7月 執行役員 開発本部本部長  
2013年9月 取締役 執行役員 開発本部本部長  
2014年1月 取締役 執行役員 物語（上海）企業管理有限公司総経理  
2015年2月 取締役 執行役員 焼肉事業部事業部長  
2015年9月 執行役員 成長戦略室付

2016年7月 執行役員 社長室室長  
2017年7月 執行役員 営業企画部部長  
2018年7月 上級執行役員 営業担当  
2020年9月 取締役 上級執行役員 F C事業・営業担当  
2023年7月 取締役 上級執行役員 F C・店舗・立地開発担当 新事業担当（現任）

候補者番号

5

にしかわ

ゆきたか

西川 幸孝

1956年5月19日生（満68歳）

期待する分野



属性・委員会

再任

指名

社外

独立

所有する当社株式数

一株

取締役在任年数

7年 ※本総会結終時

重要な兼職の状況

株式会社ビジネスリンク 代表取締役  
本多プラス株式会社 社外取締役  
株式会社買取王国 社外取締役（監査等委員）  
三信鉱工株式会社 社外取締役

出席率（2024年度）

取締役会

100%（17回／17回）

指名・報酬委員会

100%（5回／5回）

#### 社外取締役候補者とした理由および期待される役割の概要

豊橋商工会議所や実践的な経営コンサルタントとしての豊富な経験があり、人事労務管理に関する深い見識を有しております。また、複数社の社外取締役を歴任されるなどの経営者としての実績から、その幅広い知識・経験などを当社グループの経営判断に活かしていただけると判断し、引き続き社外取締役候補者として選任をお願いするものです。

#### 略歴、地位および担当

1982年 4 月 豊橋商工会議所入所  
2005年 3 月 株式会社ビジネスリンク設立 代表取締役（現任）  
2009年 8 月 本多プラス株式会社 社外取締役（現任）

2016年 5 月 株式会社買取王国 社外取締役（監査等委員）（現任）  
2017年 9 月 当社社外取締役（現任）  
2023年 8 月 三信鉱工株式会社 社外取締役（現任）

候補者番号

6

やすだ

かな

安田 加奈

1969年4月10日生（満55歳）

期待する分野



属性・委員会

再任

指名

社外

独立

所有する当社株式数

1,500株

取締役在任年数

3年 ※本総会結終時

重要な兼職の状況

安田会計事務所 所長 公認会計士・税理士  
スギホールディングス株式会社 社外監査役  
株式会社ゲオホールディングス 社外取締役  
中央発條株式会社 社外取締役  
コンドーテック株式会社 社外取締役（監査等委員）

出席率（2024年度）

取締役会

100%（17回／17回）

指名・報酬委員会

100%（5回／5回）

#### 社外取締役候補者とした理由および期待される役割の概要

会計・税務の専門家としての経験と知見が豊富であり、それらを活かし、客観的かつ専門的な視点から当社グループのガバナンス強化や当社グループの経営判断に活かしていただけるものと判断し、引き続き社外取締役候補者として選任をお願いするものです。

なお、同氏は、過去に社外役員となること以外の方法で会社経営に関与した経験はありませんが、上記の理由により社外取締役としての職務を適切に遂行できるものと判断しております。

#### 略歴、地位および担当

1993年10月 センチュリー監査法人  
（現EY新日本有限責任監査法人）入所  
1997年 4 月 公認会計士登録  
2000年 3 月 安田会計事務所設立 同所所長（現任）  
2004年 3 月 税理士登録  
2009年 9 月 シンボ株式会社 社外監査役  
2010年 5 月 スギホールディングス株式会社 社外監査役（現任）

2016年 6 月 株式会社ゲオホールディングス 社外取締役（現任）  
2019年 6 月 中央発條株式会社 社外取締役（現任）  
2019年 6 月 コンドーテック株式会社 社外監査役  
2020年 6 月 コンドーテック株式会社 社外取締役  
（監査等委員）（現任）  
2021年 9 月 当社社外取締役（現任）

候補者番号

7

くらしま かおる  
**倉島 薫**

1960年5月5日生（満64歳）

## 期待する分野



## 属性・委員会

再任

指名

社外

独立

## 所有する当社株式数

1,000株

## 取締役在任年数

1年 ※本総会終結時

## 重要な兼職の状況

株式会社JSP 社外取締役  
公益財団法人味の素ファンデーション 理事長  
日本うま味調味料協会 会長

## 出席率（2024年度）

取締役会

100%（13回／13回）

指名・報酬委員会

100%（4回／4回）

## 社外取締役候補者とした理由および期待される役割の概要

グローバルに展開する食品企業において取締役専務執行役員などの要職を国内外で歴任し、豊富な企業経営に関する経験を有しております。また、企業経営およびグローバルビジネス、海外事業の展開における高い見識や豊富な経営経験があり、その見識や経験を当社グループの経営判断に活かしていただけるものと判断し、社外取締役候補者として選任をお願いするものです。

## 略歴、地位および担当

1984年 4月 味の素株式会社入社

2015年 6月 同社 執行役員

2016年 6月 同社 常務執行役員

2019年 6月 同社 専務執行役員  
同社食品事業本部長

2020年 6月 株式会社 J-オイルミルズ社外取締役

2021年 4月 味の素株式会社 グローバルコーポレート本部長  
同社コーポレートサービス本部長

2021年 6月 同社 取締役

2022年 6月 公益財団法人味の素ファンデーション 理事長  
（現任）

2023年 6月 日本うま味調味料協会 会長（現任）

2023年 9月 当社社外取締役（現任）

2024年 6月 株式会社JSP 社外取締役（現任）

(注) 1. 各候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。

2. 西川幸孝氏、安田加奈氏、倉島薫氏は、社外取締役候補者であります。

3. 西川幸孝氏、安田加奈氏、倉島薫氏は、現在、当社の社外取締役であります。各氏の社外取締役在任期間は、本株主総会終結の時をもって西川幸孝氏が7年、安田加奈氏が3年、倉島薫氏が1年となります。

4. 当社と西川幸孝氏、安田加奈氏、倉島薫氏の間では、当社定款の規定により、会社法第423条第1項に定める責任について、善意でかつ重大な過失がないときは、法令に定める額を負担の限度額とする契約を締結しております。なお、本議案が可決され、西川幸孝氏、安田加奈氏、倉島薫氏が選任された場合は同契約を継続する予定です。

5. 当社は、西川幸孝氏、安田加奈氏、倉島薫氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

西川幸孝氏、安田加奈氏、倉島薫氏が選任された場合、当社は引き続き独立役員とする予定です。

6. 当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しております。被保険者である役員などがその地位に基づいて行った行為に起因して、保険期間中に被保険者に対して責任の追及に係る請求を受けることによって生ずる損害に対して補填いたします。各候補者が選任され取締役に就任した場合は、当該保険契約の被保険者となります。当社が現在保険会社と契約している役員等賠償責任保険契約の内容の概要につきましては40頁をご参照ください。なお、当該保険契約は次回更新時においても同内容での更新を予定しております。

7. 倉島薫氏は、2023年9月26日開催の第54期定時株主総会において新たに選任されております。

## 第3号議案 監査役1名選任の件

本株主総会終結の時をもって現任の監査役4名（うち社外監査役4名）のうち、天城武治氏が任期満了となります。つきましては、新任の白井俊徳氏の選任をお願いいたしたいと存じます。

なお、本議案の提案につきましては、予め監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は次のとおりであります。

（ご参考）本議案が原案どおりに承認された場合の監査役会の体制

| 氏名                               | 年齢<br>(性別)  | 現在の当社における地位            | 監査役<br>在任年数 | 指名・報酬<br>委員会 |
|----------------------------------|-------------|------------------------|-------------|--------------|
| 在任中<br>いまむら やすなり<br><b>今村 泰也</b> | 66歳<br>(男性) | 在任中<br>社外<br>独立<br>監査役 | 6年          | ○            |
| 在任中<br>なかがわ あやこ<br><b>中川 彩子</b>  | 45歳<br>(女性) | 在任中<br>社外<br>独立<br>監査役 | 5年          | —            |
| 在任中<br>やすだ めぐみ<br><b>安田 恵</b>    | 51歳<br>(女性) | 在任中<br>社外<br>独立<br>監査役 | 1年          | —            |
| 新任<br>しらい としのり<br><b>白井 俊徳</b>   | 65歳<br>(男性) | 新任<br>社外<br>独立<br>—    | —           | —            |

（注）◎印は委員長、○印は委員を示します。

# しら い とし の り 白井 俊徳

1959年1月28日生（満65歳）

## 期待する分野



## 属性・委員会

|     |
|-----|
| 新 任 |
| 社 外 |
| 独 立 |

## 所有する当社株式数

一株

## 監査役在任年数

一年 ※本総会終結時

## 重要な兼職の状況

FaSiNGマネジメントデザイン代表  
兼 デザイナー  
中野冷機株式会社 社外取締役

## 出席率（2024年度）

取締役会

一％（一回／一回）

監査役会

一％（一回／一回）

## 社外監査役候補者とした理由

グローバルに展開する小売・流通企業において監査役会議長などの要職を歴任し、上場会社における先進的かつ実効性の高いガバナンス体制を構築するなど、企業経営やガバナンスに関する優れた知見と豊富な経験を有しております。これら豊富な実績や経験から当社ガバナンスの強化に活かしていただきたく、社外監査役候補者としての選任をお願いするものです。

## 略歴、地位

|           |                                                             |           |                                                 |
|-----------|-------------------------------------------------------------|-----------|-------------------------------------------------|
| 1982年 4 月 | 株式会社伊勢丹（現 株式会社三越伊勢丹）入社                                      | 2019年 6 月 | 株式会社三越伊勢丹ホールディングス<br>監査役会議長 兼 新光三越非常勤董事         |
| 2008年 4 月 | 株式会社三越伊勢丹ホールディングス<br>経営戦略本部企画推進部部長                          | 2020年 6 月 | 株式会社三越伊勢丹ホールディングス<br>取締役監査委員会委員長<br>兼 新光三越非常勤董事 |
| 2017年 4 月 | 株式会社三越伊勢丹ホールディングス<br>経営戦略本部長 兼 新光三越非常勤董事                    | 2021年 8 月 | 新光三越高級顧問 兼 董事                                   |
| 2018年 4 月 | 株式会社三越伊勢丹ホールディングスCSRO<br>（最高戦略責任者兼最高構造改革責任者）<br>兼 新光三越非常勤董事 | 2023年 4 月 | FaSiNGマネジメントデザイン代表<br>兼 デザイナー（現任）               |
|           |                                                             | 2024年 3 月 | 中野冷機株式会社 社外取締役（現任）                              |

- (注) 1. 白井俊徳氏と当社には特別の利害関係はありません。
2. 白井俊徳氏は社外監査役候補者であります。なお、当社は白井俊徳氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同氏が選任された場合、同氏を同取引所へ届け出を行う予定です。
3. 本議案が可決され、白井俊徳氏が選任された場合、当社と同氏は、当社定款の規定により、会社法第423条第1項に定める責任について、善意でかつ重大な過失がないときは、法令に定める額を負担の限度額とする契約を新たに締結する予定です。
4. 白井俊徳氏の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する本株主総会終結の時までとなります。
5. 当社は、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しております。被保険者である役員などがその地位に基づいて行った行為に起因して、保険期間中に被保険者に対して責任の追及に係る請求を受けることによって生ずる損害に対して補填いたします。白井俊徳氏が選任され監査役に就任した場合は、当該保険契約の被保険者となります。当社が現在保険会社と契約している役員等賠償責任保険契約の内容の概要につきましては40頁をご参照ください。

## ご参考 当社のスキルマトリックス

第2号議案および第3号議案が承認された場合の役員体制

当社の取締役および監査役に特に期待する分野・有している専門的な分野

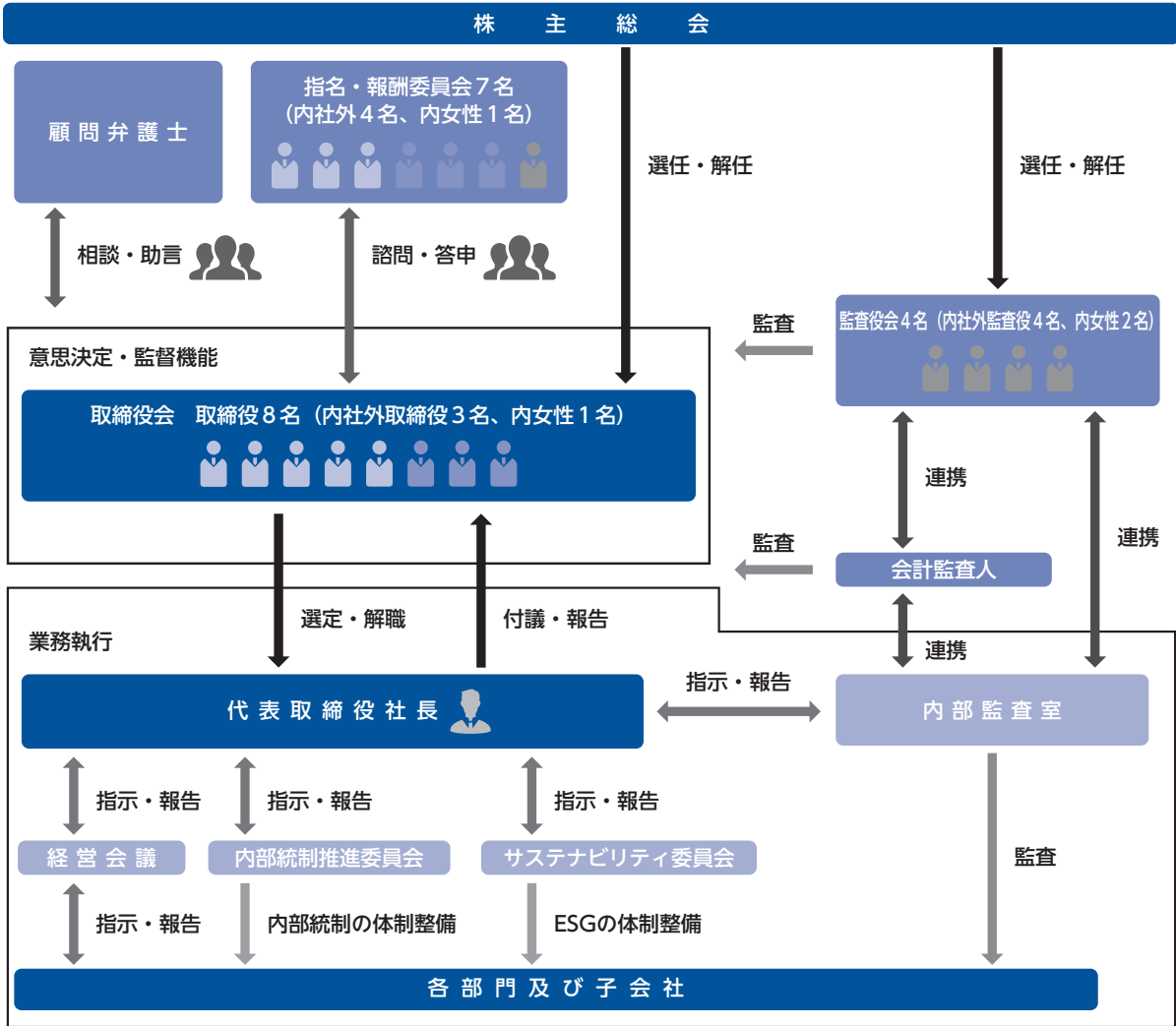
| NO. | 地位    | 氏名    | 性別 | 属性         | 在任年数 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|-----|-------|-------|----|------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 代表取締役 | 加藤 央之 | 男性 | 指名         | 4年   | ●                                                                                 | ●                                                                                 | ●                                                                                 | ●                                                                                 | ●                                                                                  |                                                                                     |                                                                                     |                                                                                     | ●                                                                                   |
| 2   | 代表取締役 | 岡田 雅道 | 男性 | 指名         | 6年   | ●                                                                                 | ●                                                                                 | ●                                                                                 | ●                                                                                 |                                                                                    |                                                                                     |                                                                                     |                                                                                     | ●                                                                                   |
| 3   | 取締役   | 津寺 毅  | 男性 |            | 6年   | ●                                                                                 |                                                                                   |                                                                                   |                                                                                   |                                                                                    | ●                                                                                   | ●                                                                                   | ●                                                                                   | ●                                                                                   |
| 4   | 取締役   | 木村 公治 | 男性 |            | 4年   | ●                                                                                 | ●                                                                                 |                                                                                   | ●                                                                                 | ●                                                                                  |                                                                                     |                                                                                     |                                                                                     | ●                                                                                   |
| 5   | 取締役   | 西川 幸孝 | 男性 | 指名<br>社外独立 | 7年   | ●                                                                                 |                                                                                   |                                                                                   |                                                                                   | ●                                                                                  |                                                                                     |                                                                                     |                                                                                     | ●                                                                                   |
| 6   | 取締役   | 安田 加奈 | 女性 | 指名<br>社外独立 | 3年   | ●                                                                                 |                                                                                   |                                                                                   |                                                                                   |                                                                                    |                                                                                     | ●                                                                                   | ●                                                                                   | ●                                                                                   |
| 7   | 取締役   | 倉島 薫  | 男性 | 指名<br>社外独立 | 1年   | ●                                                                                 |                                                                                   | ●                                                                                 |                                                                                   |                                                                                    |                                                                                     |                                                                                     |                                                                                     | ●                                                                                   |
| 8   | 監査役   | 今村 泰也 | 男性 | 指名<br>社外独立 | 6年   | ●                                                                                 |                                                                                   |                                                                                   |                                                                                   | ●                                                                                  |                                                                                     |                                                                                     | ●                                                                                   |                                                                                     |
| 9   | 監査役   | 中川 彩子 | 女性 | 社外独立       | 5年   |                                                                                   |                                                                                   |                                                                                   |                                                                                   |                                                                                    |                                                                                     |                                                                                     | ●                                                                                   |                                                                                     |
| 10  | 監査役   | 安田 恵  | 女性 | 社外独立       | 1年   |                                                                                   |                                                                                   |                                                                                   |                                                                                   |                                                                                    |                                                                                     | ●                                                                                   | ●                                                                                   |                                                                                     |
| 11  | 監査役   | 白井 俊徳 | 男性 | 社外独立       | —    | ●                                                                                 |                                                                                   | ●                                                                                 |                                                                                   |                                                                                    |                                                                                     |                                                                                     | ●                                                                                   |                                                                                     |

 企業経営・経営戦略
  フランチャイズビジネス
  海外事業
  マーケティング・MD
  人事・人財開発

 IT・DX
  財務・ファイナンス
  内部統制・ガバナンス
  サステナビリティ

# ご参考 当社のコーポレート・ガバナンス

2024年6月30日現在



顧問弁護士／指名・報酬委員会 代表取締役社長 取締役 社外取締役 監査役 社外監査役

## ① 取締役会

### [ 役割 ]

取締役会は、経営戦略および重要事項の決定とすべての事業活動の監督に責任を持つ機関です。

### [ 構成 ]

役割・責務を果たす観点から、取締役会の構成に関する考え方について、次のとおり定めております。

当社は、取締役会全体として知識・経験・能力のバランスや多様性などに関する考え方を考慮し、任意の指名・報酬委員会の審議結果を踏まえ、取締役候補者の指名を行っております。社内取締役については、営業・会計・リスク管理など、能力のバランスを考慮しております。社外取締役については、経験・能力のバランスに加え、他社での経営経験および多様性も考慮しております。必要に応じて、取締役会全体としての知識・経験・能力のバランス、多様性および規模をより意識した体制を構築しております。

現在、8名の取締役（うち独立社外取締役3名）により構成しております。本定時株主総会での承認可決を前提として、7名の取締役（うち独立社外取締役3名）となる予定です。

### [ 当期の運営状況 ]

55期は17回開催し、1回当たり平均3時間、中期経営計画および経営戦略の策定、取締役会の実効性、サステナビリティ戦略などの重要事項について審議いたしました。

## ② 監査役会

### [ 役割 ]

監査役会は、法律・財務・会計や内部統制・ガバナンスなどで豊富な経験を有する者から構成されております。また、監査役は、株主の負託を受けた独立の機関として、取締役会その他重要な会議に出席して発言を行うほか、積極的に事業拠点の視察を行うなど、能動的に権限を行使するとともに、客観的な立場から適切に監査を行っております。

### [ 構成 ]

現在、4名の監査役（うち独立社外監査役4名）により構成されております。本定時株主総会での承認可決を前提として、4名の監査役（うち独立社外監査役4名）となる予定です。

### [ 当期の運営状況 ]

55期は17回開催し、1回当たり平均1時間、監査報告書の作成、監査役監査方針、監査計画および監査業務の分担などについて審議いたしました。

### ③ 指名・報酬委員会

---

#### [ 役割 ]

指名・報酬委員会は、取締役会の任意の諮問機関として、代表取締役および役付執行役員などの経営幹部の選解任と取締役・監査役および執行役員候補の指名、ならびに、経営陣幹部・取締役・監査役および執行役員の報酬などについての審議を経て取締役会へ答申などを行い、取締役会の意思決定における客観性と透明性をより一層高め、取締役会の監督機能の独立性の強化を図っております。

#### [ 構成 ]

現在、指名・報酬委員会は、委員7名で構成されており、その過半数は独立社外取締役および独立社外監査役で構成しています。また、委員長は、その独立社外取締役である委員の中から、指名・報酬委員会の決議によって選定することとしております。

#### [ 当期の運営状況 ]

55期は5回開催し、1回当たり平均1時間、指名・報酬委員会の委員長の選任、役員報酬水準の確認、取締役候補予定者・監査役候補予定者の選定およびスキルマトリックスに係る審議、執行役員候補者の確認、取締役の報酬などに係る審議をいたしました。

## ご参考 当社の取締役会実効性評価

当社は、取締役会の実効性評価を年次で実施しております。すべての取締役・監査役からアンケートによる取締役会の実効性に関する自己評価を得たうえで、その結果を分析・評価しています。評価結果については取締役会へ報告し、議論することによりPDCAサイクルを回し、取締役会の実効性の維持・向上に努めております。

主な評価項目は以下のとおりです。

|                |                                                           |
|----------------|-----------------------------------------------------------|
| ガバナンス体制・仕組み    | 全社的なガバナンス体制、権限委譲・グループ統制、内部監査部門との連携、意思決定プロセスなど             |
| 取締役会の役割・責務     | 大きな方向性の議論、将来への影響の議論、環境変化への対応、経営計画などの審議・監督、役員トレーニング、情報共有など |
| 取締役会の構成        | 構成に対する認識、規模                                               |
| 取締役会の運営        | 年間スケジュール、開催頻度、開催時間、招集時期、資料の提供時期、議題の範囲、重要議題の対応、資料の量・質など    |
| 取締役会における審議の活性化 | 議事進行、個別の審議時間、発言・指摘、議論・意見交換、風土・雰囲気など                       |
| 経営の監督・経営陣との関係  | 指名・報酬委員会の役割、取締役の選解任・後継者計画、報酬制度、社外役員の活用など                  |
| リスク把握          | 健全な企業風土の醸成、リスクの認識、リスク管理体制など                               |
| ステークホルダーとの関係   | 資本コストや株主を意識した経営の監督、株主との建設的な対話、サステナビリティ課題への取り組みの監督など       |

### 当事業年度の実効性評価について

当事業年度の実効性評価については、外部の第三者機関の助言を参考に、ガバナンス体制・仕組み、取締役会の役割・責務、取締役会の構成、取締役会の運営、取締役会における審議の活性化、経営の監督・経営陣との関係、リスク把握、ステークホルダーとの関係の評価し、実効性は確保されている旨を確認しております。各取締役・監査役からは、取締役会の構成に関して多様性の確保に向けた取り組みが必要との指摘がなされました。また、海外事業・資本政策・投資に関して今後の展開を見据え、より丁寧に対応する必要があるとの意見も寄せられました。

当社は、引き続き、あらゆるステークホルダーからの信頼獲得および持続的な企業価値の向上に向け、取締役会の実効性向上に努めてまいります。

# 事業報告 第55期 (2023年7月1日から2024年6月30日まで)

## 1. 企業集団の現況に関する事項

### (1) 事業の経過及び成果

#### ① 当社グループの連結業績の概要



#### ② 当社グループを取り巻く環境

当連結会計年度におけるわが国経済は、2023年5月より新型コロナウイルス感染症の感染症法上に係る分類が5類に移行したことにより、経済活動の正常化が一段と進みました。また、持続的な賃上げが下支えとなり、国内の消費活動は緩やかな回復の動きが続いております。その一方で、ウクライナ情勢の長期化、イスラエル・パレスチナ問題などの地政学リスクの上昇、円安によるエネルギー資源や原材料価格の上昇、金融資本市場の変動リスクなどにより、依然として景気の先行きは不透明な状況であります。

外食業界においては、経済活動の正常化による人流増加に加え、インバウンドの回復も追い風となり、外食需要は回復基調が続いております。しかし、原材料価格や光熱費、人件費の上昇に加えて、継続的な物価上昇による節約志向が強まるなど、厳しい経営環境に直面しております。

このような状況下において、当社グループは中期経営計画「ビジョン2025」の実現に向け、「とびっきりの笑顔と心からの元気」をスローガンに店舗運営を行いました。当社グループの売上向上施策として、既存店舗の内外装の積極的な改装、看板商品の磨きこみ、ブランドメニューの変更、サービス力の強化を行い、他社との差別化を図るとともに顧客体験価値の向上に注力しました。また、『焼肉きんぐ』における特急レーンの導入に加えて、『丸源ラーメン』におけるセルフレジ、タッチパネルの導入、『寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵』における配膳ロボットの積極的な導入など店舗運営のDX(デジタルトランスフォーメーション)化を積極的に進めました。さらに、認知度向上を目的としたテレビCMの放映やスマートフォンアプリ、ブランドサイト、SNSなどを活用したデジタルマーケティングの強化により、お客様からの認知度やブランドロイヤルティの向上を図りました。これらの施策の効果により、国内既存店（注）の当連結会計年度における売上高は、直営店において前期比8.1%増、フランチャイズ店において前期比8.9%増となりました。

また、昨今の原材料価格の高騰に対処するため、当社グループは商品ラインナップやメニュー価格、クーポンなどの各種販売促進施策の見直しを図りました。人件費や光熱費などの上昇への対応策としては、店舗営業時間の適正化、従業員の勤務編成の標準化による人件費コントロール、電力自動制御装置（デマンドコントロール）の設置、本社を含む業務の効率化や高度化に向けたIT化の推進に取り組みしました。

新業態への取り組みとしては、『焼きたてのかるび』の積極出店を中心に各業態の育成を進めております。海外事業においては、中国・インドネシアにおける事業の展開に加えて、新たに香港に子会社を設立しました。

中長期的な成長の実現に向けて、人財の採用や教育・研修による能力開発を進めるとともに、従業員の多様な働き方の実現を目標として、2023年8月に「myエリア制度」の運用を開始いたしました。また、D&I(ダイバーシティ&インクルージョン)の推進により、「LGBTQ+」に関する取り組みの評価指標「PRIDE指標2023」において、外食企業初となる最上位の「レインボー認定」を獲得いたしました。加えて、「健康経営優良法人（大規模法人部門）」を3年連続で取得いたしました。さらに、人財の確保と定着を目的として、2023年11月より正社員の賃金ベースアップおよび新卒初任給の引き上げを実施いたしました。

店舗出店については、国内において郊外ロードサイドの好立地への積極的な出店に加えて、都市部などの新たなロケーションへの進出により、直営出店50店舗、退店7店舗、フランチャイズ出店7店舗、退店2店舗、海外においては出店17店舗、退店10店舗の結果、当連結会計年度末における当社グループの店舗数は720店舗（直営448店、フランチャイズ244店、海外28店）となりました。

以上の結果により、売上高107,156百万円（前期比16.1%増）、営業利益8,165百万円（前期比13.3%増）、経常利益8,582百万円（前期比19.5%増）となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は5,639百万円（前期比20.1%増）となりました。

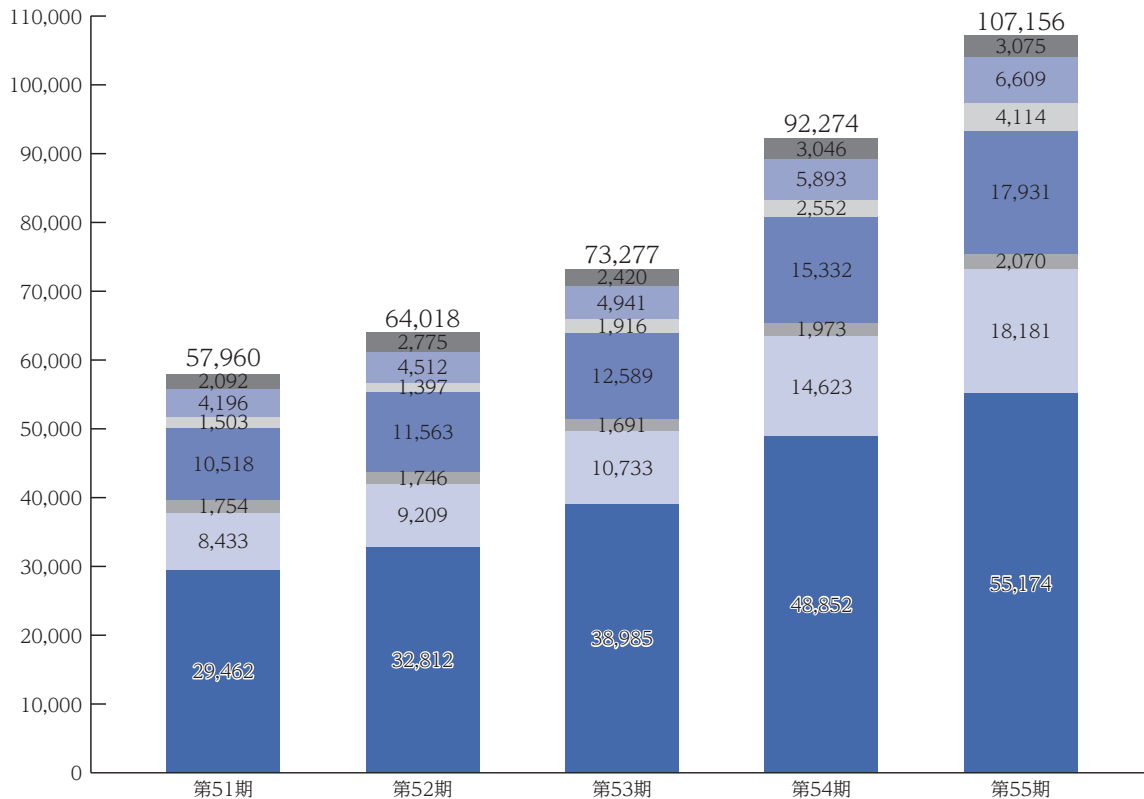
（注）国内既存店とは、2024年6月30日現在で開店から18カ月以上経過している国内の店舗を指します。

各部門別の売上高推移は次のとおりであります。

売上高

|        |            |         |        |
|--------|------------|---------|--------|
| ■焼肉部門  | ■ラーメン部門    | ■お好み焼部門 | ■ゆず庵部門 |
| ■専門店部門 | ■フランチャイズ部門 | ■その他部門  |        |

(単位：百万円)



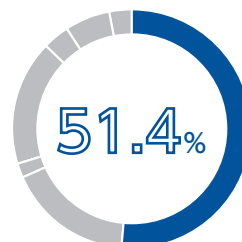
## (2) 部門別の概況

## 焼肉部門

売上高

551億円 前期比12.9%増

売上構成比



直営店舗数 (店)

| 前期末 | 当期出店 | 当期退店 | 当期末 |
|-----|------|------|-----|
| 189 | 16   | -    | 205 |

## 当期の概況

当連結会計年度中において、『焼肉きんぐ』は20店舗の出店（直営16店、フランチャイズ4店）を実施しました。これにより、焼肉部門の当連結会計年度末の店舗数は325店舗（直営205店、フランチャイズ120店）となりました。

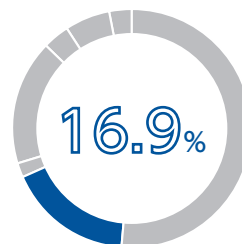
以上の結果により、直営店の売上高は55,174百万円（前期比12.9%増）となりました。

## ラーメン部門

売上高

181億円 前期比24.3%増

売上構成比



直営店舗数 (店)

| 前期末 | 当期出店 | 当期退店 | 当期末 |
|-----|------|------|-----|
| 100 | 16   | 1    | 115 |

## 当期の概況

当連結会計年度中において、『丸源ラーメン』は19店舗の出店（直営16店、フランチャイズ3店）を実施しました。これにより、ラーメン部門の当連結会計年度末の店舗数は219店舗（直営115店、フランチャイズ104店）となりました。

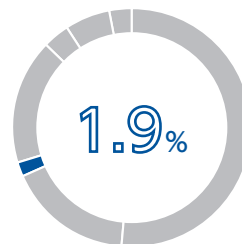
以上の結果により、直営店の売上高は18,181百万円（前期比24.3%増）となりました。

# お好み焼部門

売上高

**20億円** 前期比4.9%増

売上構成比



直営店舗数（店）

| 前期末 | 当期出店 | 当期退店 | 当期末 |
|-----|------|------|-----|
| 16  | -    | -    | 16  |

## 当期の概況

当連結会計年度中において、お好み焼部門の当連結会計年度末の店舗数は20店舗（直営16店、フランチャイズ4店）となりました。

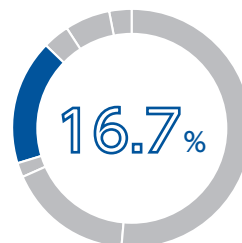
以上の結果により、直営店の売上高は2,070百万円（前期比4.9%増）となりました。

# ゆず庵部門

売上高

**179億円** 前期比16.9%増

売上構成比



直営店舗数（店）

| 前期末 | 当期出店 | 当期退店 | 当期末 |
|-----|------|------|-----|
| 78  | 3    | -    | 81  |

## 当期の概況

当連結会計年度中において、『寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵』は3店舗の出店（直営3店）を実施しました。これにより、ゆず庵部門の当連結会計年度末の店舗数は97店舗（直営81店、フランチャイズ16店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は17,931百万円（前期比16.9%増）となりました。

## 専門店部門

売上高

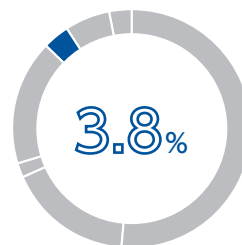
**41億円** 前期比61.1%増

### 当期の概況

当連結会計年度中において、『焼きたてのかるび』は14店舗の出店（直営14店）、『濃厚中華そば 餃子 丸福』は1店舗の出店（直営1店）を実施しました。これにより、専門店部門の当連結会計年度末の店舗数は31店舗（直営31店）となりました。

以上の結果により、直営店の売上高は4,114百万円（前期比61.1%増）となりました。

売上構成比



直営店舗数（店）

| 前期末 | 当期出店 | 当期退店 | 当期末 |
|-----|------|------|-----|
| 22  | 15   | 6    | 31  |

## フランチャイズ部門

売上高

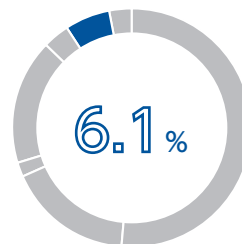
**66億円** 前期比12.1%増

### 当期の概況

主にフランチャイズ加盟店舗からの売上ロイヤルティ・加盟金・業務受託料などであります。当連結会計年度中においてフランチャイズ7店舗の出店を実施しました。これにより、フランチャイズ部門の当連結会計年度末の店舗数は244店舗となりました。

以上の結果により、売上高は6,609百万円（前期比12.1%増）となりました。

売上構成比



フランチャイズ店舗数（店）

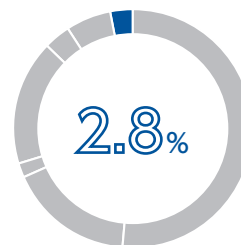
| 前期末 | 当期出店 | 当期退店 | 当期末 |
|-----|------|------|-----|
| 239 | 7    | 2    | 244 |

# その他部門

売上高

**30億円** 前期比0.9%増

売上構成比



直営店舗数 (店)

| 前期末 | 当期出店 | 当期退店 | 当期末 |
|-----|------|------|-----|
| 21  | 17   | 10   | 28  |

## 当期の概況

主に連結子会社である「物語（上海）企業管理有限公司」および「PT. Agrapana Niaga Gemilang」による取り組みであります。当連結会計年度中において、17店舗の出店を実施しました。これにより、その他部門の当連結会計年度末の店舗数は28店舗となりました。

以上の結果により、売上高は3,075百万円（前期比0.9%増）となりました。

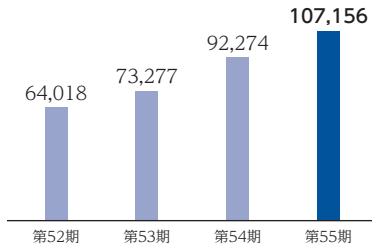
### (3) 財産及び損益の状況の推移

(単位：百万円)

| 区 分                 | 第 52 期                        | 第 53 期                        | 第 54 期                        | 第55期<br>(当連結会計年度)             |
|---------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
|                     | (2020年7月1日から<br>2021年6月30日まで) | (2021年7月1日から<br>2022年6月30日まで) | (2022年7月1日から<br>2023年6月30日まで) | (2023年7月1日から<br>2024年6月30日まで) |
| 売上高                 | 64,018                        | 73,277                        | 92,274                        | 107,156                       |
| 経常利益                | 4,265                         | 6,167                         | 7,179                         | 8,582                         |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 2,727                         | 3,727                         | 4,693                         | 5,639                         |
| 1株当たり当期純利益          | 75円36銭                        | 102円85銭                       | 129円48銭                       | 158円15銭                       |
| 総資産                 | 47,752                        | 46,196                        | 50,011                        | 61,530                        |
| 純資産                 | 19,961                        | 22,960                        | 24,954                        | 29,558                        |

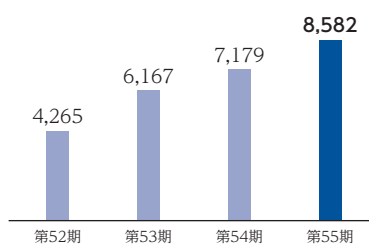
#### 売上高

(単位：百万円)



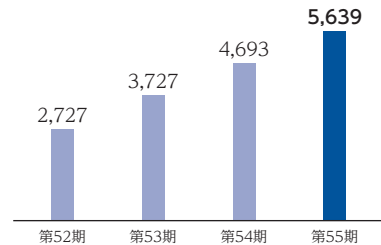
#### 経常利益

(単位：百万円)



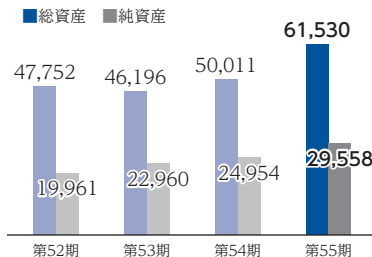
#### 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



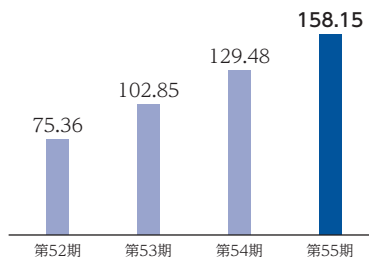
#### 総資産/純資産

(単位：百万円)



#### 1株当たり当期純利益

(単位：円)



(注) 2021年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割、2023年3月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため、1株当たり当期純利益については、第52期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

#### (4) サステナビリティ経営の推進

当社グループの経営理念である「Smile & Sexy（スマイル アンド セクシー）」のもと、健全な企業統治体制を構築し、お客様や株主様はもとよりお取引先様、従業員、ひいては社会からの揺るぎない信頼の確立を目指しております。また、当社グループの事業活動を通じて社会の課題解決と持続的発展に貢献することを経営の基本方針としております。

その実現に向けて、当社グループは2022年6月にサステナビリティ基本方針を策定し、当社の代表取締役社長を委員長とするサステナビリティ委員会を設置いたしました。加えて、当社グループは9つのマテリアリティ（重点課題）を特定し、サステナビリティ委員会が中心となり、当社グループの事業活動を通じてこれらマテリアリティ（重点課題）の解決を図ってまいります。

ご参考 当社グループのESGに関する取り組み

| 基本方針                                                   | 大項目        | マテリアリティ                 | 取り組みキーワード                                                                                                | 目標                                                                                                                                                                      |
|--------------------------------------------------------|------------|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 「豊かな社会」と「お客様に必要とされるブランド・会社」の両立の実現を目指し、社会の課題解決と持続的発展に寄与 | 環境<br>E    | 気候変動への対応<br>(脱炭素社会への貢献) | ・TCFD対応<br>・省エネルギー<br>・再生可能エネルギー購入<br>・GHG排出量の多い牛肉への対応                                                   | <GHG排出量><br>2030年までの目標<br>・売上百万円当たりのGHG排出量を2020年対比で33%削減<br>2050年までの目標<br>・売上百万円当たりのGHG排出量がゼロ<br><プラスチック使用量><br>2030年までの目標<br>・使い捨てプラスチックのバイオマス素材比率80%達成                |
|                                                        |            | 省資源・廃棄物削減への対応           | ・食品ロスへの対応<br>・脱プラスチック<br>・水資源の有効活用                                                                       |                                                                                                                                                                         |
|                                                        |            | 生物多様性の確保と持続可能な食料調達      | ・ポストタンパク質への対応<br>・認証食材の調達                                                                                |                                                                                                                                                                         |
|                                                        | 社会<br>S    | 少子高齢化社会への対応             | ・海外展開<br>・労働力の確保（採用活動の強化）<br>・省力化投資（ロボットなどの導入）                                                           | 2030年までの目標<br>・女性管理職比率30%達成<br>・国際ナショナル社員比率30%達成<br>・チャレンジの雇用比率2.3%達成<br>・女性の育休取得率100%達成<br>・男性の育休取得率85%達成                                                              |
|                                                        |            | 顧客満足度の向上                | ・競争力のあるメニュー開発<br>・丁寧な接客サービスの提供<br>・ポストコロナの生活スタイル変化に対応した多様な業態開発、出店計画<br>・食事の時間・空間の提供<br>・FCとの緻密なコミュニケーション |                                                                                                                                                                         |
|                                                        |            | ダイバーシティ&インクルージョン        | ・健康経営・ワークライフバランス<br>・ダイバーシティ&インクルージョン                                                                    |                                                                                                                                                                         |
|                                                        |            | 地域社会への貢献                | ・地域社会から支持される店舗運営<br>・地域スポーツへのスポンサー                                                                       |                                                                                                                                                                         |
|                                                        | ガバナンス<br>G | 食の安心安全の確保               | ・衛生管理の徹底（店舗、自社工場および仕入工場）<br>・調達先の選定および管理                                                                 | 2030年までの目標<br>・当社品質管理部による検査が徹底され、重大事故がゼロ<br>・認証食材が使用されている状態<br>・コーポレートガバナンスコードの遵守<br>・重大事故、ハラスメントゼロに向けた施策が行われている<br>・DX推進による効果が最大化されている<br>・環境、社会にポジティブな影響を与える調達体制の構築検討 |
|                                                        |            | 経営基盤の充実                 | ・コーポレートガバナンスの充実<br>・コンプライアンス・リスクマネジメント<br>・DX戦略<br>・ESG調達                                                |                                                                                                                                                                         |

## (5) 対処すべき課題

### 当社の対処すべき課題に関する基本的な考え方

当社グループは「Smile & Sexy（スマイル アンド セクシー）」という、“自己実現を目指す”経営理念のもと、素敵に自由に、正々堂々、人間味豊かな“物語人”が集う「個」が溢れる企業を目指しております。

今後の外食業界におきましては、持続的な賃上げが下支えとなり、国内の消費活動は緩やかな回復が見込まれます。一方で、国際情勢の先行き不安や世界的なインフレの進行などによるエネルギー価格や原材料価格の上昇により、依然として厳しい経営環境が続くものと思われ、環境の変化に合わせた柔軟な経営が求められております。

また、当社グループは中期経営計画「ビジョン2025」に定める「日本・海外における業態開発型リーディングカンパニー」の実現に向けて、国内においては主力ブランドの『焼肉きんぐ』、『丸源ラーメン』、『寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵』ならびに新業態の『焼きたてのかるび』を中心に積極的な出店を行います。また、既存店舗のリニューアルや商品、サービスなどの向上を中心とした継続的なフォーマット改善を推進し、選ばれるブランド創りを目指しております。加えて、国内のみならず中国・インドネシアにおける新業態の開発や育成にも積極的に取り組んでまいります。さらに、当社グループの最大の差別化要素である人財への投資を積極的に行うとともに、新たな価値創造を加速させるDX（デジタルトランスフォーメーション）と本社機能の整備を通して、経営基盤の充実を図ってまいります。

このような状況のもと、当社は外部環境と内部環境のあらゆる環境変化にもスピーディーに対応することにより、経営基盤をより強固なものとし、市場競争力を向上させていくことが大きな課題であると認識しており、以下の6施策を重要施策として、企業価値をより一層高めてまいります。

#### ①既存ブランドの事業拡大と収益性向上

店舗ごとに収益性を重視した質の高い出店を積極的に推進し、郊外ロードサイド市場の寡占化を目指します。また、人財教育やフランチャイズ加盟店への支援をさらに加速させます。加えて、「差別化の積み重ね」にこだわり、ブランド力のさらなる向上、サプライチェーンの最適化や各種コスト削減を推進し、収益性の向上を図ります。

#### ②新業態・新事業を日本、海外でチャレンジ

新たな収益の柱を育成するために、新業態開発への取り組みを強化し、また、持続的な成長を目指すために、新規事業開発や海外事業開発にもチャレンジします。

#### ③多様な理念型人財の採用

人種、国籍、セクシュアリティ等の垣根を越え、私たちの経営理念である「Smile & Sexy」に共感する人財を採用し、成熟・自立した「個」が集う集団を目指します。

#### ④個の覚醒を促すD&Iと人財育成の推進

私たちは「個」の尊厳を「組織」の尊厳より上位に置き、「個」の明言から生まれる議論を多くの差別化要素を生み出す源泉とし、組織の成長につなげます。また、覚醒した「個」の発掘と人財育成を強く推進し、成熟・自立したリーダーを生み出すことで、「とびっきりの笑顔と心からの元気」で世の中をイキイキさせることを目指します。

#### ⑤新たな価値創造を加速させるDXと本社機能強化の推進

DXの推進をより加速させ、社会の大きな変化やお客様のニーズへの対応と新たな価値創造に取り組むとともに、業務そのものを変革することで、生産性のさらなる向上を目指します。

#### ⑥サステナビリティの推進

「豊かな社会」と「お客様に必要とされるブランド・会社」の両立を目指し、サステナビリティ重要課題（マテリアリティ）を特定し、事業戦略とサステナビリティの連動を深めることで、持続的な社会の実現と企業価値の向上を目指します。

### (6) 資金調達の状況

当連結会計年度中の運転資金および設備投資に充当するため、金融機関からの借入により、短期借入金を1,000百万円、長期借入金を5,300百万円調達しております。

### (7) 設備投資の状況

当連結会計年度中の設備投資は、67店舗の新規出店、19店舗の改修、1事務所の移転を実施し、その設備投資総額は10,081百万円（無形固定資産、長期前払費用および差入保証金を含む）となりました。

### (8) 重要な子会社の状況（2024年6月30日現在）

| 会 社 名                       | 資 本 金    | 出資比率    | 主要な事業内容           |
|-----------------------------|----------|---------|-------------------|
| 物語（上海）企業管理有限公司              | 7百万US\$  | 100.00% | レ ス ト ラ ン 経 営     |
| Storyteller株式会社             | 10百万円    | 100.00% | 子 会 社 の 統 括 業 務 等 |
| PT. Agrapana Niaga Gemilang | 700億IDR  | 65.00%  | レ ス ト ラ ン 経 営     |
| 物語香港有限公司                    | 15百万HK\$ | 100.00% | レ ス ト ラ ン 経 営     |

（注）2024年5月28日付で物語香港有限公司を新たに設立しました。

(9) 主要な事業内容 (2024年6月30日現在)

当社グループは、当社および連結子会社4社で構成されており、直営およびフランチャイズによる外食事業を営んでおります。

(10) 主要な営業所及び工場並びに店舗 (2024年6月30日現在)

- ①当社の主要な事業所及び工場
- |                     |        |
|---------------------|--------|
| 豊橋フォーラムオフィス (本社)    | 愛知県豊橋市 |
| 東京フォーラムオフィス         | 東京都港区  |
| 物語フードファクトリー (製麺工場)  | 愛知県小牧市 |
| 物語フードラボ (液体調味料製造工場) | 愛知県小牧市 |
- ②子会社の主要な事業所
- |                             |    |                |
|-----------------------------|----|----------------|
| 物語 (上海) 企業管理有限公司            | 本社 | 中華人民共和国上海市     |
| Storyteller株式会社             | 本社 | 愛知県豊橋市         |
| PT. Agrapana Niaga Gemilang | 本社 | インドネシア共和国ジャカルタ |
| 物語香港有限公司                    | 本社 | 中華人民共和国香港特別行政区 |
- ③当社グループ店舗

(単位：店)

| 部 門 区 分 | 店舗形態および海外事業の状況              | 直営<br>(国内) | F C<br>(国内) | 海外 | 合 計 |
|---------|-----------------------------|------------|-------------|----|-----|
| 焼 肉     | 焼 肉 き ん ぐ                   | 205        | 120         | －  | 325 |
| ラ ー メ ン | 丸 源 ラ ー メ ン                 | 109        | 103         | －  | 212 |
|         | 二 代 目 丸 源                   | －          | 1           | －  | 1   |
|         | 熟成醤油ラーメン きゃべとん              | 6          | －           | －  | 6   |
| お 好 み 焼 | お 好 み 焼 本 舗                 | 16         | 4           | －  | 20  |
| ゆ ず 庵   | 寿 司 ・ し ゃ ぶ し ゃ ぶ ゆ ず 庵     | 81         | 16          | －  | 97  |
| 専 門 店   | 魚 貝 三 味 げ ん 屋               | 1          | －           | －  | 1   |
|         | し ゃ ぶ と か に 源 氏 総 本 店       | 2          | －           | －  | 2   |
|         | 牛 た ん 大 好 き 焼 肉 は っ ぴ い     | 1          | －           | －  | 1   |
|         | 熟 成 焼 肉 肉 源                 | 2          | －           | －  | 2   |
|         | 焼 き た て の か る び             | 22         | －           | －  | 22  |
|         | 果 実 屋 珈 琲                   | 1          | －           | －  | 1   |
| そ の 他   | 濃 厚 中 華 そ ば 餃 子 丸 福         | 2          | －           | －  | 2   |
|         | 物語 (上海) 企業管理有限公司            | －          | －           | 24 | 24  |
|         | PT. Agrapana Niaga Gemilang | －          | －           | 4  | 4   |
| 合 計     |                             | 448        | 244         | 28 | 720 |

## (11) 使用人の状況 (2024年6月30日現在)

## ①企業集団の使用人の状況

| 使用人数   | 前連結会計年度末比増減 |
|--------|-------------|
| 1,809名 | 228名増       |

- (注) 1. 上記使用人の他に、臨時社員（パートタイマーおよびアルバイト、人材派遣会社からの派遣社員 8,846名（1日8時間換算による期中平均雇用人員））があります。
2. 使用人数には使用人兼務取締役は含んでおりません。
3. 当社グループは単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

## ②当社の使用人の状況

| 使用人数   | 前事業年度末比増減 | 平均年齢  | 平均勤続年数 |
|--------|-----------|-------|--------|
| 1,637名 | 236名増     | 32.8歳 | 4年11ヶ月 |

- (注) 1. 上記使用人の他に、臨時社員（パートタイマーおよびアルバイト、人材派遣会社からの派遣社員 8,502名（1日8時間換算による期中平均雇用人員））があります。
2. 使用人数には使用人兼務取締役は含んでおりません。

## (12) 主要な借入先及び借入額 (2024年6月30日現在)

| 借入先          | 借入金残高    |
|--------------|----------|
| 株式会社三菱UFJ銀行  | 3,543百万円 |
| 株式会社三井住友銀行   | 1,066    |
| 信金中央金庫       | 942      |
| 株式会社みずほ銀行    | 904      |
| 農林中央金庫       | 688      |
| 株式会社名古屋銀行    | 442      |
| 株式会社愛知銀行     | 285      |
| 株式会社日本政策投資銀行 | 97       |
| 株式会社十六銀行     | 64       |
| 株式会社大垣共立銀行   | 4        |

(注) 上記借入金残高のほかに、下記社債の当連結会計年度末残高があります。

|                               |          |
|-------------------------------|----------|
| 豊橋信用金庫 適格機関投資家譲渡限定無担保社債       | 1,000百万円 |
| AAGS S1,L.P. 無担保転換社債型新株予約権付社債 | 5,887百万円 |

## 2. 株式に関する事項（2024年6月30日現在）

|              |                              |
|--------------|------------------------------|
| (1) 発行可能株式総数 | 普通株式 54,000,000株             |
| (2) 発行済株式の総数 | 35,657,177株（自己株式697,573株を除く） |
| (3) 株主       | 92,607名                      |

### (1) 大株主の状況

（上位10名）

| 株 主 名                                                                 | 持 株 数      | 持 株 比 率 |
|-----------------------------------------------------------------------|------------|---------|
| 日 本 マ ス タ ー ト ラ ス ト 信 託 銀 行<br>株 式 会 社 （ 信 託 口 ）                      | 3,250,600株 | 9.1%    |
| 小 林 佳 雄                                                               | 1,746,342  | 4.9     |
| 小 林 雄 祐                                                               | 1,588,800  | 4.4     |
| 小 林 早 苗                                                               | 778,440    | 2.1     |
| 株式会社日本カストディ銀行（信託口）                                                    | 755,000    | 2.1     |
| 豊 橋 信 用 金 庫                                                           | 660,000    | 1.8     |
| 小 林 洋 平                                                               | 621,810    | 1.7     |
| 兼 松 株 式 会 社                                                           | 600,000    | 1.6     |
| 青 山 商 事 株 式 会 社                                                       | 579,600    | 1.6     |
| HSBC HONG KONG－TREASURY<br>SERVICES A/C ASIAN EQUITIES<br>DERIVATIVES | 566,200    | 1.5     |

（注） 1. 当社は、自己株式を697,573株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式（697,573株）を控除して計算しております。

### (2) 当事業年度中に職務執行の対価として会社役員に交付した株式の状況

|               | 株 式 の 数 及 び 種 類 | 交 付 さ れ た 人 数 |
|---------------|-----------------|---------------|
| 取締役（社外取締役を除く） | 5,283株（普通株式）    | 5名            |

（注）当社の株式報酬の内容につきましては、事業報告46頁(7)「取締役及び監査役の報酬等の額」に記載しております。  
なお、社外取締役および社外監査役には、交付しておりません。

## 4. 会社役員に関する事項

### (1) 取締役及び監査役（2024年6月30日現在）

| 地 位                      | 氏 名     | 担当および重要な兼職の状況                                                                                                                                        |
|--------------------------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表取締役会長                  | 芝 宮 良 之 | －                                                                                                                                                    |
| 代表取締役社長                  | 加 藤 央 之 | 取締役会議長<br>経営理念推進・サステナビリティ担当<br>マーケティング担当<br>物語（上海）企業管理有限公司 董事<br>Storyteller株式会社 代表取締役                                                               |
| 代 表 取 締 役<br>専 務 執 行 役 員 | 岡 田 雅 道 | 海外事業担当<br>営業担当<br>海外事業本部 本部長<br>兼 専門店・新業態事業部事業部長<br>物語（上海）企業管理有限公司 董事長<br>Storyteller株式会社 代表取締役社長<br>PT. Agrapana Niaga Gemilang 取締役<br>物語香港有限公司 取締役 |
| 取 締 役<br>常 務 執 行 役 員     | 津 寺 毅   | 財務・成長戦略担当<br>管理本部本部長<br>物語（上海）企業管理有限公司 董事<br>Storyteller株式会社 取締役<br>PT. Agrapana Niaga Gemilang コミサリス（監査役）<br>物語香港有限公司 取締役                           |
| 取 締 役<br>上 級 執 行 役 員     | 木 村 公 治 | FC・店舗・立地開発担当<br>新事業担当                                                                                                                                |
| 取 締 役                    | 西 川 幸 孝 | 株式会社ビジネスリンク 代表取締役<br>本多プラス株式会社 社外取締役<br>株式会社買取王国 社外取締役（監査等委員）<br>三信鋳工株式会社 社外取締役                                                                      |
| 取 締 役                    | 安 田 加 奈 | 安田会計事務所 所長 公認会計士・税理士<br>スギホールディングス株式会社 社外監査役<br>株式会社グオホールディングス 社外取締役<br>中央発條株式会社 社外取締役<br>コンドーテック株式会社 社外取締役（監査等委員）                                   |

| 地 位       | 氏 名     | 担当および重要な兼職の状況                                                                                                   |
|-----------|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取 締 役     | 倉 島 薫   | 株式会社JSP 社外取締役<br>公益財団法人味の素ファンデーション 理事長<br>日本うま味調味料協会 会長                                                         |
| 常 勤 監 査 役 | 今 村 泰 也 | 物語（上海）企業管理有限公司 監事<br>Storyteller株式会社 監査役                                                                        |
| 監 査 役     | 天 城 武 治 | 株式会社平石会計コンサルティング 代表取締役<br>公認会計士・税理士                                                                             |
| 監 査 役     | 中 川 彩 子 | 弁護士法人柴田・中川法律特許事務所 弁護士<br>株式会社オートサーバー 社外取締役（監査等委員）<br>夢コーポレーション株式会社 社外監査役                                        |
| 監 査 役     | 安 田 恵   | 安田恵公認会計士事務所 所長 公認会計士<br>綜研科学株式会社 社外監査役<br>エイベックス株式会社 社外取締役<br>気象庁 入札監視委員<br>昭和女子大学 グローバルビジネス学部 会計ファイナンス学科 客員准教授 |

- (注) 1. 取締役 西川幸孝氏、取締役 安田加奈氏、取締役 倉島薫氏は、独立社外取締役であります。
2. 監査役 4 名は、独立社外監査役であります。
3. 監査役 天城武治氏は、公認会計士・税理士の資格を有しており、財務会計に関する相当程度の知見を有するものであります。
4. 監査役 中川彩子氏は、弁護士の資格を有しており、法務・コンプライアンスに関する相当程度の知見を有するものであります。
5. 監査役 安田恵氏は、公認会計士の資格を有しており、財務会計に関する相当程度の知見を有するものであります。
6. 当社は、取締役 西川幸孝氏、取締役 安田加奈氏、取締役 倉島薫氏、監査役 今村泰也氏、監査役 天城武治氏、監査役 中川彩子氏、監査役 安田恵氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

## (2) 責任限定契約に関する事項

当社は、取締役（業務執行取締役等であるものを除く）および監査役の責任限定契約に関する規定を定款に設けており、これに基づき西川幸孝氏、安田加奈氏、倉島薫氏、今村泰也氏、天城武治氏、中川彩子氏、安田恵氏との間で責任限定契約を締結しております。

当該責任限定契約の内容の概要は、会社法第423条第1項の責任について、善意でかつ重大な過失がないときは、法令に定める額を負担の限度額とするというものであります。

### (3) 役員等賠償責任保険契約（D&O保険契約）の内容の概要

当社は、優秀な人材の確保、職務執行の際の萎縮防止のため、会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しております。

#### ①保険の対象となる範囲

- ・当社および当社子会社の取締役、監査役
- ・執行役員および管理職従業員
- ・役員と共同被告になったか、他の従業員または派遣社員からハラスメントなどの不当労働行為を理由に損害賠償請求訴訟を受けた場合の全従業員

#### ②保険契約の内容

##### (イ) 被保険者の実質的な保険料負担割合

保険料は特約部分を含め会社負担としており、被保険者の実質的な保険料負担はありません。

##### (ロ) 補填の対象となる保険事故の概要

被保険者である役員などがその地位に基づいて行った行為に起因して、保険期間中に被保険者に対して責任の追及に係る請求を受けることによって生ずる損害に対して補填いたします。ただし、法令に違反することを認識しながら行った行為などに起因する損害等については一定の免責があります。

##### (ハ) 職務執行の適正性が損なわれないようにするための措置

保険契約に免責額の定めを設けており、当該免責額までの損害については補填の対象外とすることで、職務執行の適正性が損なわれないようにするための措置を講じております。

(4) 執行役員（2024年6月30日現在）

| 地 位    | 氏 名       | 担当および重要な兼職の状況                                               |
|--------|-----------|-------------------------------------------------------------|
| 上級執行役員 | 堀 誠       | 海外事業本部 出向 マーケティング担当<br>物語（上海）企業管理有限公司 総経理付<br>マーケティング担当     |
| 上級執行役員 | 池 田 兼 孝   | 営業イノベーション本部 本部長                                             |
| 執行役員   | 岡 本 兵 衛   | ＩＴ推進本部 本部長                                                  |
| 執行役員   | 新 田 崇 博   | 営業企画部 部長                                                    |
| 執行役員   | 伊 藤 栄 志   | 内部監査室 室長                                                    |
| 執行役員   | 三 宅 泰 嗣   | ゆず庵事業部 事業部長                                                 |
| 執行役員   | 横 濱 任     | 経営理念推進・Ｄ＆Ｉ本部 本部長 兼 人財開発部 部長                                 |
| 執行役員   | 佐 々 木 亨 明 | お好み焼事業部 事業部長                                                |
| 執行役員   | 針 谷 節     | 購買物流・生産本部 本部長                                               |
| 執行役員   | 池 田 頼 信   | 丸源事業部 事業部長                                                  |
| 執行役員   | 山 口 学     | 焼肉事業部 事業部長                                                  |
| 執行役員   | 齋 木 知 親   | F C事業推進本部 本部長                                               |
| 執行役員   | 廣 瀬 雅 孝   | 業態開発本部 本部長                                                  |
| 執行役員   | 三 尾 真 永   | 海外事業本部 出向 インドネシア事業担当<br>PT.Agrapana Niaga Gemilang 代表取締役 社長 |

## (5) 社外役員に関する事項

### ①他の法人などとの重要な兼職状況および当社と当該他の法人などとの関係

取締役 西川幸孝氏は、株式会社ビジネスリンクの代表取締役、本多プラス株式会社の社外取締役、株式会社買取王国の社外取締役（監査等委員）および三信鉱工株式会社の社外取締役を兼務しております。なお、当社と各兼職先との間に特別な関係はありません。

取締役 安田加奈氏は、安田会計事務所の所長、スギホールディングス株式会社の社外監査役、株式会社ゲオホールディングスの社外取締役、中央発條株式会社の社外取締役およびコンドーテック株式会社の社外取締役（監査等委員）であります。当社と各兼職先との間に特別な関係はありません。

取締役 倉島薫氏は、株式会社JSPの社外取締役、公益財団法人味の素ファンデーションの理事長および日本うま味調味料協会の会長を兼務しております。なお、当社と各兼職先との間に特別な関係はありません。

監査役 今村泰也氏は、当社の連結子会社である物語（上海）企業管理有限公司の監事、Storyteller株式会社の監査役を兼務しております。なお、同氏は物語（上海）企業管理有限公司およびStoryteller株式会社から役員報酬などの支給を受けておりません。

監査役 天城武治氏は、株式会社平石会計コンサルティングの代表取締役を兼務しております。なお、当社と兼職先との間に特別な関係はありません。

監査役 中川彩子氏は、弁護士法人柴田・中川法律特許事務所の弁護士、株式会社オートサバーの社外取締役（監査等委員）および夢コーポレーション株式会社の社外監査役を兼務しております。なお、当社と各兼職先との間に特別な関係はありません。

監査役 安田恵氏は、安田恵公認会計士事務所の所長、綜研科学株式会社の社外監査役、エイベックス株式会社の社外取締役、気象庁の入札監視委員および昭和女子大学のグローバルビジネス学部会計ファイナンス学科客員准教授を兼務しております。なお、当社と各兼職先との間に特別な関係はありません。

## ②社外役員の主な活動状況

| 区 分   | 氏 名     | 主な活動の状況および社外取締役に期待される役割に関して行った職務の概要                                                                                                    |
|-------|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 社外取締役 | 西 川 幸 孝 | 当事業年度に開催された取締役会17回および指名・報酬委員会5回のすべてに出席し、事業法人の経営者として、また経営コンサルタントとしての豊富な実績、人事労務管理に関する幅広い知識・経験などを活かして、当社の経営判断に関する発言を毎回積極的に行っております。        |
| 社外取締役 | 安 田 加 奈 | 当事業年度に開催された取締役会17回および指名・報酬委員会5回のすべてに出席し、公認会計士として培われた財務面、コンプライアンス体制や内部統制の構築に関する幅広い知識・経験などから、当社の経営判断に関する発言を毎回積極的に行っております。                |
| 社外取締役 | 倉 島 薫   | 当事業年度に開催された取締役会13回および指名・報酬委員会4回のすべてに出席し、事業法人の経営者として、また海外事業に精通した幅広い知識・経験などを活かして、当社の経営全般に関する発言を毎回積極的に行っております。                            |
| 社外監査役 | 今 村 泰 也 | 当事業年度に開催された取締役会17回、指名・報酬委員会5回および監査役会17回のすべてに出席し、常勤監査役として主に経営管理・人財育成の観点から経営全般・人事労務管理に関する発言を毎回積極的に行っております。また、随時、各取締役とも意見交換を行っております。      |
| 社外監査役 | 天 城 武 治 | 当事業年度に開催された取締役会17回および監査役会17回のすべてに出席し、公認会計士・税理士として培われた幅広い知識・経験などから、財務面、コンプライアンス体制や内部統制の構築に関する発言を毎回積極的に行っております。また、随時、各取締役とも意見交換を行っております。 |
| 社外監査役 | 中 川 彩 子 | 当事業年度に開催された取締役会17回および監査役会17回のすべてに出席し、弁護士として培われた幅広い知識・経験などから、法律面、コンプライアンス体制の構築に関する発言を毎回積極的に行っております。また、随時、各取締役とも意見交換を行っております。            |
| 社外監査役 | 安 田 恵   | 当事業年度に開催された取締役会13回および監査役会13回のすべてに出席し、公認会計士として培われた豊富な会計業務の経験に基づき、財務分析および経営計画をはじめとした幅広い事案に対し毎回積極的に発言を行っております。また、随時、各取締役とも意見交換を行っております。   |

(注) 社外取締役倉島薫氏、社外監査役安田恵氏は、2023年9月26日開催の第54期定時株主総会において新たに選任されております。

## (6) 取締役の個人別の報酬等の決定に関する基本方針

### ①取締役の個人別の報酬等の決定に関する基本方針

当社は2019年9月25日開催の取締役会において、取締役の個人別の報酬等の内容にかかる決定方針を決議しております。

取締役の個人別の報酬等の決定に関する基本方針として、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を経営上の最重要課題と位置づけており、取締役の報酬制度についても、当社の成長や企業価値の向上に資するべきものであると考えており、以下を基本方針としております。

- ・経営理念を実践する優秀な人財を登用できる報酬とする
- ・持続的な企業価値向上を動機づける報酬体系とする
- ・報酬の決定プロセスは透明性・客観性の高いものとする

上記の基本方針を踏まえ、取締役の個人別の報酬は株主総会で決議された額の範囲内で支給いたします。また、個人別の報酬額につきましては指名・報酬委員会で審議のうえ、取締役会で協議し決定しております。

取締役会は、当事業年度にかかる取締役の個人別の報酬等について、報酬等の決定方法および決定された報酬等の内容が取締役会で決議された決定方針と整合していることを確認しており、当該決定方針に沿うものであると判断し取締役会で決議しております。

### ②取締役（社外取締役を除く）報酬制度の概要

当社の取締役の報酬は「基本報酬」「業績報酬」「個人評価報酬」および「株式報酬」で構成されております。

#### ・基本報酬

「役位報酬」「加算報酬」「職責報酬」からなり、「役位報酬」は役位毎にその役割に応じた報酬額とし、「加算報酬」は人財難易度などを考慮して個別に支給額を決定し、「職責報酬」は職責に応じて支給額を決定しております。

- ・業績報酬

短期的なインセンティブとして業績報酬を支給しております。企業価値向上の観点から、前連結会計年度の連結経常利益・純利益を評価基準としたうえで、総合的に評価しております。

- ・個人評価報酬

毎年代表取締役社長により評価項目を設定したうえで業務執行取締役を個人毎に評価し、その評価結果を指名・報酬委員会で審議しております。

- ・株式報酬（譲渡制限付株式報酬）

中長期的なインセンティブとして各役位の職責や企業価値向上への貢献度を評価しております。役員退任時まで株式の譲渡制限を付しております。

### ③指名・報酬委員会

取締役、執行役員に関する選解任、評価、報酬の客観性・透明性・公正性を確保し、コーポレートガバナンス体制の一層の強化を図るため、社外取締役・社外監査役を含む非業務執行取締役を主な構成員とした任意の「指名・報酬委員会」を設置しております。構成員7名のうち4名が非業務執行取締役・監査役で構成されており、そのうちの1名が「指名・報酬委員会」の委員長を務めております。当事業年度において「指名・報酬委員会」を4回開催し、報酬水準などを同業他社と比較検討し、指名・報酬制度の課題などについて議論したうえで取締役会へ答申しております。

#### 指名・報酬委員会の構成（2024年6月30日現在）

| 非業務執行取締役・監査役（出席回数）      | 業務執行取締役（出席回数）         |
|-------------------------|-----------------------|
| 西川 幸孝（社外取締役）（5回/5回）※委員長 | 芝宮 良之（代表取締役会長）（5回/5回） |
| 安田 加奈（社外取締役）（5回/5回）     | 加藤 央之（代表取締役社長）（5回/5回） |
| 倉島 薫（社外取締役）（4回/4回）      | 岡田 雅道（代表取締役専務執行役員）    |
| 今村 泰也（社外監査役）（5回/5回）     | （5回/5回）               |

(注) 社外取締役倉島薫氏は、2023年9月26日開催の第54期定時株主総会において新たに選任されております。

## (7) 取締役及び監査役の報酬等の額

| 区分               | 人数          | 基本報酬等の額           | 業績報酬         | 非金銭報酬等       | 計                 |
|------------------|-------------|-------------------|--------------|--------------|-------------------|
| 取締役<br>(うち社外取締役) | 9名<br>(4名)  | 171百万円<br>(18百万円) | 28百万円<br>(-) | 24百万円<br>(-) | 224百万円<br>(18百万円) |
| 監査役<br>(うち社外監査役) | 5名<br>(5名)  | 31百万円<br>(31百万円)  | (-)<br>(-)   | (-)<br>(-)   | 31百万円<br>(31百万円)  |
| 計<br>(うち社外役員)    | 14名<br>(9名) | 203百万円<br>(50百万円) | 28百万円<br>(-) | 24百万円<br>(-) | 256百万円<br>(50百万円) |

- (注) 1. 上表には、2023年9月26日開催の第54期定時株主総会終結の時をもって退任した社外取締役1名、社外監査役1名を含んでおります。
2. 使用人兼務の取締役に対し、使用人分給与は支給しておりません。
3. 2013年9月25日開催の第44期定時株主総会決議に基づく取締役に対する報酬限度額は、年額300百万円以内であります。2013年9月25日開催の株主総会終結時点の取締役の員数は10名（うち社外取締役1名）であります。なお、2021年9月28日開催の第52期定時株主総会決議において、社外取締役の報酬額を年額20百万円以内から年額50百万円以内へと改定しており、同株主総会終結時点での取締役の員数は9名（うち社外取締役4名）であります。また、当該取締役報酬額とは別枠で、2010年9月22日開催の第41期定時株主総会において、ストック・オプションとして取締役に発行する新株予約権に関する報酬額として年額12百万円以内及び、2015年9月25日開催の第46期定時株主総会において、株式報酬型ストック・オプションとして割り当てる新株予約権に関する報酬などの額を年額24百万円以内および、2020年9月24日開催の第51期定時株主総会において、譲渡制限付株式報酬に関する報酬などの額を年額90百万円とし、当社の普通株式の総数を15,000株以内と決議いただいております。2010年9月22日開催の株主総会終結時点の取締役の員数は7名であります。2015年9月25日開催の株主総会終結時点の取締役の員数は8名（うち社外取締役2名）であります。2020年9月24日開催の株主総会終結時点の取締役の員数は10名（うち社外取締役3名）であります。
4. 2016年9月27日開催の第47期定時株主総会決議に基づく監査役に対する報酬限度額は、年額50百万円以内であります。当該株主総会終結時点の監査役の員数は4名（うち社外監査役4名）であります。
5. 当事業年度の取締役の報酬の決定に用いた指標は前年度経営実績であり、その実績は連結経常利益71億円、純利益46億円となっております。また、当該指標を用いた理由は、透明性、客観性および継続性を確保できる指標であるためです。

## 5. 会計監査人に関する事項

(1) **会計監査人の名称** 有限責任監査法人トーマツ

(2) **当該事業年度に係る会計監査人の報酬等の額**

①当社の当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額 33百万円

②当社及び子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他財産上の利益の合計額 33百万円

(注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できないため、当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。

2. 監査役会は、日本監査役協会が公表する「会計監査人との連携に関する実務指針」を踏まえ、監査計画における監査時間及び監査報酬の推移並びに過年度の監査計画と実績の状況を確認し、報酬額の見積りの妥当性を検討した結果、会計監査人の報酬等につき、会社法第399条第1項の同意を行っております。

(3) **会計監査人の解任又は不再任の決定の方針**

監査役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、株主総会に提出する会計監査人の解任又は不再任に関する議案の内容を決定いたします。

また、会計監査人が会社法第340条第1項各号のいずれかに該当すると認められる場合には、監査役全員の同意に基づき、会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会において、会計監査人を解任した旨及びその理由を報告いたします。

## 連結貸借対照表

(2024年 6 月30日現在)

(単位：百万円)

| 科 目               | 金 額    | 科 目                     | 金 額    |
|-------------------|--------|-------------------------|--------|
| (資産の部)            |        | (負債の部)                  |        |
| 流 動 資 産           | 19,482 | 流 動 負 債                 | 17,329 |
| 現 金 及 び 預 金       | 12,236 | 買 掛 金                   | 3,828  |
| 売 掛 金             | 4,395  | 短 期 借 入 金               | 1,000  |
| 商 品 及 び 製 品       | 556    | 1年内返済予定の長期借入金           | 1,999  |
| 原 材 料 及 び 貯 蔵 品   | 126    | 未 払 法 人 税 等             | 1,829  |
| そ の 他             | 2,167  | 賞 与 引 当 金               | 394    |
| 貸 倒 引 当 金         | △1     | 株 主 優 待 引 当 金           | 137    |
| 固 定 資 産           | 42,048 | そ の 他                   | 8,140  |
| 有 形 固 定 資 産       | 34,039 | 固 定 負 債                 | 14,642 |
| 建 物 及 び 構 築 物     | 27,514 | 社 債                     | 6,887  |
| 機 械 装 置 及 び 運 搬 具 | 759    | 長 期 借 入 金               | 5,040  |
| 工 具 、 器 具 及 び 備 品 | 3,766  | 退 職 給 付 に 係 る 負 債       | 805    |
| 土 地               | 1,353  | 資 産 除 去 債 務             | 768    |
| リ ー ス 資 産         | 16     | そ の 他                   | 1,140  |
| 建 設 仮 勘 定         | 629    | 負 債 合 計                 | 31,971 |
| 無 形 固 定 資 産       | 884    | (純資産の部)                 |        |
| 投 資 そ の 他 の 資 産   | 7,123  | 株 主 資 本                 | 29,082 |
| 投 資 有 価 証 券       | 188    | 資 本 金                   | 2,883  |
| 繰 延 税 金 資 産       | 1,185  | 資 本 剰 余 金               | 2,707  |
| 差 入 保 証 金         | 5,584  | 利 益 剰 余 金               | 25,573 |
| そ の 他             | 165    | 自 己 株 式                 | △2,082 |
| 資 産 合 計           | 61,530 | その他の包括利益累計額             | 20     |
|                   |        | その他有価証券評価差額金            | 7      |
|                   |        | 為 替 換 算 調 整 勘 定         | 47     |
|                   |        | 退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額 | △33    |
|                   |        | 新 株 予 約 権               | 310    |
|                   |        | 非 支 配 株 主 持 分           | 144    |
|                   |        | 純 資 産 合 計               | 29,558 |
|                   |        | 負 債 及 び 純 資 産 合 計       | 61,530 |

# 連結損益計算書

( 2023年 7 月 1 日から )  
( 2024年 6 月30日まで )

(単位：百万円)

| 科 目 |    |    |    |    |    |    |    |    |    | 金 額   |         |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-------|---------|
| 売上  | 売上 | 売上 | 売上 | 売上 | 売上 | 売上 | 売上 | 売上 | 売上 |       | 107,156 |
| 売上  | 売上 | 売上 | 売上 | 売上 | 売上 | 売上 | 売上 | 売上 | 売上 |       | 37,015  |
| 販売  | 販売 | 販売 | 販売 | 販売 | 販売 | 販売 | 販売 | 販売 | 販売 |       | 70,140  |
| 費   | 費  | 費  | 費  | 費  | 費  | 費  | 費  | 費  | 費  |       | 61,975  |
| 営業  | 営業 | 営業 | 営業 | 営業 | 営業 | 営業 | 営業 | 営業 | 営業 |       | 8,165   |
| 受取  | 受取 | 受取 | 受取 | 受取 | 受取 | 受取 | 受取 | 受取 | 受取 | 28    |         |
| 受取  | 受取 | 受取 | 受取 | 受取 | 受取 | 受取 | 受取 | 受取 | 受取 | 11    |         |
| 為替  | 為替 | 為替 | 為替 | 為替 | 為替 | 為替 | 為替 | 為替 | 為替 | 103   |         |
| 協移  | 協移 | 協移 | 協移 | 協移 | 協移 | 協移 | 協移 | 協移 | 協移 | 222   |         |
| そ   | そ  | そ  | そ  | そ  | そ  | そ  | そ  | そ  | そ  | 69    |         |
| 営業  | 営業 | 営業 | 営業 | 営業 | 営業 | 営業 | 営業 | 営業 | 営業 | 65    | 501     |
| 支   | 支  | 支  | 支  | 支  | 支  | 支  | 支  | 支  | 支  | 36    |         |
| 賃   | 賃  | 賃  | 賃  | 賃  | 賃  | 賃  | 賃  | 賃  | 賃  | 8     |         |
| 控   | 控  | 控  | 控  | 控  | 控  | 控  | 控  | 控  | 控  | 14    |         |
| そ   | そ  | そ  | そ  | そ  | そ  | そ  | そ  | そ  | そ  | 24    | 84      |
| 経   | 経  | 経  | 経  | 経  | 経  | 経  | 経  | 経  | 経  |       | 8,582   |
| 特   | 特  | 特  | 特  | 特  | 特  | 特  | 特  | 特  | 特  |       | 390     |
| 固   | 固  | 固  | 固  | 固  | 固  | 固  | 固  | 固  | 固  | 84    |         |
| 特   | 特  | 特  | 特  | 特  | 特  | 特  | 特  | 特  | 特  | 437   |         |
| 固   | 固  | 固  | 固  | 固  | 固  | 固  | 固  | 固  | 固  | 115   |         |
| 減   | 減  | 減  | 減  | 減  | 減  | 減  | 減  | 減  | 減  | 253   | 891     |
| 店   | 店  | 店  | 店  | 店  | 店  | 店  | 店  | 店  | 店  |       | 8,081   |
| 税   | 税  | 税  | 税  | 税  | 税  | 税  | 税  | 税  | 税  | 2,657 |         |
| 法   | 法  | 法  | 法  | 法  | 法  | 法  | 法  | 法  | 法  | △186  | 2,471   |
| 法   | 法  | 法  | 法  | 法  | 法  | 法  | 法  | 法  | 法  |       | 5,610   |
| 当   | 当  | 当  | 当  | 当  | 当  | 当  | 当  | 当  | 当  |       | △29     |
| 期   | 期  | 期  | 期  | 期  | 期  | 期  | 期  | 期  | 期  |       | 5,639   |
| 非   | 非  | 非  | 非  | 非  | 非  | 非  | 非  | 非  | 非  |       |         |
| 支   | 支  | 支  | 支  | 支  | 支  | 支  | 支  | 支  | 支  |       |         |
| 配   | 配  | 配  | 配  | 配  | 配  | 配  | 配  | 配  | 配  |       |         |
| 株   | 株  | 株  | 株  | 株  | 株  | 株  | 株  | 株  | 株  |       |         |
| 主   | 主  | 主  | 主  | 主  | 主  | 主  | 主  | 主  | 主  |       |         |
| に   | に  | に  | に  | に  | に  | に  | に  | に  | に  |       |         |
| 帰   | 帰  | 帰  | 帰  | 帰  | 帰  | 帰  | 帰  | 帰  | 帰  |       |         |
| 属   | 属  | 属  | 属  | 属  | 属  | 属  | 属  | 属  | 属  |       |         |
| す   | す  | す  | す  | す  | す  | す  | す  | す  | す  |       |         |
| る   | る  | る  | る  | る  | る  | る  | る  | る  | る  |       |         |
| 当   | 当  | 当  | 当  | 当  | 当  | 当  | 当  | 当  | 当  |       |         |
| 期   | 期  | 期  | 期  | 期  | 期  | 期  | 期  | 期  | 期  |       |         |
| 純   | 純  | 純  | 純  | 純  | 純  | 純  | 純  | 純  | 純  |       |         |
| 損   | 損  | 損  | 損  | 損  | 損  | 損  | 損  | 損  | 損  |       |         |
| 失   | 失  | 失  | 失  | 失  | 失  | 失  | 失  | 失  | 失  |       |         |
| (   | (  | (  | (  | (  | (  | (  | (  | (  | (  |       |         |
| △   | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  | △  |       |         |
| 親   | 親  | 親  | 親  | 親  | 親  | 親  | 親  | 親  | 親  |       |         |
| 会   | 会  | 会  | 会  | 会  | 会  | 会  | 会  | 会  | 会  |       |         |
| 社   | 社  | 社  | 社  | 社  | 社  | 社  | 社  | 社  | 社  |       |         |
| 株   | 株  | 株  | 株  | 株  | 株  | 株  | 株  | 株  | 株  |       |         |
| 主   | 主  | 主  | 主  | 主  | 主  | 主  | 主  | 主  | 主  |       |         |
| に   | に  | に  | に  | に  | に  | に  | に  | に  | に  |       |         |
| 帰   | 帰  | 帰  | 帰  | 帰  | 帰  | 帰  | 帰  | 帰  | 帰  |       |         |
| 属   | 属  | 属  | 属  | 属  | 属  | 属  | 属  | 属  | 属  |       |         |
| す   | す  | す  | す  | す  | す  | す  | す  | す  | す  |       |         |
| る   | る  | る  | る  | る  | る  | る  | る  | る  | る  |       |         |
| 当   | 当  | 当  | 当  | 当  | 当  | 当  | 当  | 当  | 当  |       |         |
| 期   | 期  | 期  | 期  | 期  | 期  | 期  | 期  | 期  | 期  |       |         |
| 純   | 純  | 純  | 純  | 純  | 純  | 純  | 純  | 純  | 純  |       |         |
| 利   | 利  | 利  | 利  | 利  | 利  | 利  | 利  | 利  | 利  |       |         |
| 益   | 益  | 益  | 益  | 益  | 益  | 益  | 益  | 益  | 益  |       |         |

## 貸借対照表

(2024年 6 月30日現在)

(単位：百万円)

| 科 目       | 金 額    | 科 目           | 金 額    |
|-----------|--------|---------------|--------|
| (資産の部)    |        | (負債の部)        |        |
| 流動資産      | 17,916 | 流動負債          | 17,063 |
| 現金及び預金    | 11,051 | 買掛金           | 3,700  |
| 商品及び製品    | 4,335  | 短期借入金         | 1,000  |
| 原材料及び貯蔵品  | 533    | 1年内返済予定の長期借入金 | 1,999  |
| 前払費用      | 126    | 未払金           | 1,931  |
| その引当金     | 779    | 未払法人税等        | 2,550  |
| 固定資産      | 1,090  | 前受収益          | 1,829  |
| 有形固定資産    | △1     | 賞与引当金         | 2      |
| 構築物       | 42,914 | 主優待引当金        | 537    |
| 機械及び装置    | 163    | 固定負債          | 163    |
| 車両運搬具     | 33,491 | 社長期借入金        | 394    |
| 工具、器具及び備品 | 24,463 | 退職給付引当金       | 137    |
| 土地        | 2,663  | 資産除却負債        | 2,816  |
| 建物        | 756    | 株主資本          | 14,527 |
| 建設仮勘定     | 0      | 資本剰余金         | 6,887  |
| 無形固定資産    | 3,645  | 資本準備金         | 5,040  |
| 借入金       | 1,353  | その他の資本剰余金     | 756    |
| その引当金     | 16     | 利益剰余金         | 737    |
| 投資その他の資産  | 592    | その他の利益剰余金     | 1,105  |
| 投資有価証券    | 883    | 負債合計          | 31,590 |
| 関係会社株     | 214    | (純資産の部)       |        |
| 関係会社出資金   | 562    | 株主資本          | 28,922 |
| 関係会社長期貸付金 | 106    | 資本剰余金         | 2,883  |
| 長期前払費用    | 8,539  | 資本準備金         | 2,766  |
| 繰延税金資産    | 188    | その他の資本剰余金     | 2,756  |
| 差入保証金     | 339    | 利益剰余金         | 9      |
| その引当金     | 413    | 利益準備金         | 25,354 |
| 貸倒引当金     | 1,151  | その他の利益剰余金     | 1      |
| 資産合計      | 153    | 固定資産圧縮積立金     | 25,352 |
|           | 1,050  | 繰越利益剰余金       | 21     |
|           | 5,346  | 自己株           | 25,330 |
|           | 340    | 評価・換算差額等      | △2,082 |
|           | △445   | その他有価証券評価差額金  | 7      |
|           |        | 新株予約権         | 7      |
|           |        | 純資産合計         | 310    |
|           |        | 負債及び純資産合計     | 29,240 |
|           |        |               | 60,830 |

( 2023年7月1日から  
2024年6月30日まで )

[illegible]

- 51 -

## 連結計算書類に係る会計監査人の監査報告

### 独立監査人の監査報告書

2024年8月9日

株式会社物語コーポレーション  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ  
名古屋事務所

指定有限責任社員 業務執行社員 公認会計士 後藤 泰彦  
指定有限責任社員 業務執行社員 公認会計士 堀場 喬志

#### 監査意見

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社物語コーポレーションの2023年7月1日から2024年6月30日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社物語コーポレーション及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「連結計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査役及び監査役会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の連結計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

連結計算書類の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と連結計算書類又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

連結計算書類に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

連結計算書類を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき連結計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

連結計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての連結計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、連結計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 連結計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として連結計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において連結計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する連結計算書類の注記事項が適切でない場合は、連結計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 連結計算書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた連結計算書類の表示、構成及び内容、並びに連結計算書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- ・ 連結計算書類に対する意見を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手する。監査人は、連結計算書類の監査に関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査意見に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 計算書類に係る会計監査人の監査報告

## 独立監査人の監査報告書

2024年8月9日

株式会社物語コーポレーション  
取締役会御中有限責任監査法人 トーマツ  
名古屋事務所

指定有限責任社員

業務執行社員

指定有限責任社員

業務執行社員

公認会計士 後藤 泰彦

公認会計士 堀場 喬志

## 監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社物語コーポレーションの2023年7月1日から2024年6月30日までの第55期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査役及び監査役会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の計算書類等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

## 計算書類等に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を

作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 監査役会の監査報告

### 監査報告書

当監査役会は、2023年7月1日から2024年6月30日までの第55期事業年度における取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施いたしました。
  - ①取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社からの事業の報告を受けました。
  - ②事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及び子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
  - ③会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

(3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2024年8月19日

株式会社物語コーポレーション 監査役会

|              |           |
|--------------|-----------|
| 常勤監査役（社外監査役） | 今 村 泰 也 ㊞ |
| 監 査 役（社外監査役） | 天 城 武 治 ㊞ |
| 監 査 役（社外監査役） | 中 川 彩 子 ㊞ |
| 監 査 役（社外監査役） | 安 田 恵 ㊞   |

以 上

## 国内外における事業展開

### 国内外でグループ700店舗を突破

2024年4月、当社が展開する国内外のグループ店舗数※は計700店舗を突破しました。多くのお客様・従業員・お取引先様に支えられ、『焼肉きんぐ』『丸源ラーメン』『寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵』などの主要ブランドが順調に伸長しているほか、次の成長エンジンである『焼きたてのかるび』の出店加速や、『果実屋珈琲』『濃厚中華そば 餃子 丸福』などの新業態開発にチャレンジしてまいりました。これからも魅力ある商品やサービス・接客でお客様に愛され選ばれるブランドづくりを行ってまいります。

※直営店およびFC加盟店の合計店舗数



### 『焼きたてのかるび』 中期100店舗体制へ

2021年8月に1号店をオープンした焼肉のファストカジュアル業態『焼きたてのかるび』は、中期100店舗体制を目指してまいります。販売チャネルの拡充やドライブスルーの設置など、利便性向上に向けた取り組みのほか、メニューラインナップの充実を図ることで、「焼肉の味を気軽にリーズナブルに」のコンセプトを守るとともに、展開を加速してまいります。



### 中国『肉肉大米』を新たなエリアに出店拡大

2022年10月に中国・上海で1号店をオープンしたハンバーグ業態『肉肉大米』は、これまでに深圳や杭州に出店エリアを拡大し、今後は広州のほか北京や南京へ進出を予定しています。また、FC展開を開始し、さらなる出店拡大を目指してまいります。



## 開発・マーケティング

### 新たな出店立地・店舗フォーマットの試み

『焼肉きんぐ』では、展開の主軸である郊外ロードサイドに加え、大都市圏への出店を加速しています。『丸源ラーメン』では、駅前型店舗を新たに展開し、駅前立地に最適な新外装の検証や専用メニューの開発を行っています。『お好み焼本舗』では、シズル感や活気を生み出すオープンキッチンや、多利用動機に応える客席レイアウトを構築しています。『寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵』では、高付加価値フォーマットの確立を目指し、ハレの日需要の獲得に向けた新外装を開発しました。



### 話題性を狙いとしたコラボレーション商品の展開

当社の業態では、いつ来店しても目新しさを感じられるメニュー施策として、様々なコラボ商品を展開しています。『焼肉きんぐ』では「ペヤングソースやきそば」を「CAMPフェア」にて展開し、SNSで大きな話題を呼びました。『寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵』では、初の企業コラボとして「白くま」の展開、『お好み焼本舗』では「明治 エッセル スーパーカップミニ 超バニラ」を使用したデザートメニューを開発しました。



※商標「白くま」は、林一三株式会社の登録商標です。

### ブランド認知度を高めるテレビCMの放映

さらなる認知度の向上を狙いとし、繁忙期に合わせて積極的にテレビCMの放映を行っています。『丸源ラーメン』と『寿司・しゃぶしゃぶ ゆず庵』では新CMを制作し、全国各地で放映しました。



# 理念型人財の採用・ダイバーシティ&インクルージョン

## 過去最多人数となる 216名の幹部候補生※が入社

2024年4月1日に、「入社激励書授与式」を開催し、12の国・地域のインターナショナル（外国籍）社員およびパートナー（パートタイマー）から社員へ登用した60名を含む計216名が出席しました。

※当社では、社員1年目の社員に対し、幹部候補生として活躍してほしいという想いを込めて「幹部候補生」と呼んでいます。



## チャレンジドパートナーの 定着に向けた取り組み

全国の特別支援学校の生徒を対象とした職場体験実習を通期で実施しているほか、入社時には「入社激励会」を開催し、チャレンジドパートナー（障がいを持つパートタイマー）の定着を推進しています。



## 海外における採用活動の強化

当社では、理念型人財の採用に向け、新たな採用手法の構築を進めています。そのひとつとして、海外における採用活動を行っており、インドネシアのデンパサール・マハサラスワティ大学と産学協定を締結しているほか、韓国、ネパール、インドネシア、ベトナムの大学へ訪問し、会社説明や面接を実施しています。



## インターナショナル社員の 活躍推進に向けた取り組み

インターナショナル社員がリーダーとして能力を存分に発揮できる環境整備の一環として、幹部候補生向け「日本語リーダーシップ研修」を約9カ月にわたり対面で開催しています。また、キャリア（中途採用）社員向けに「インターナショナルキャリア交流会」を定期的に開催し、インターナショナル社員同士のコミュニケーション活性化を推進しています。



## 「健康経営優良法人（大規模法人部門）」認定を3年連続で取得

「健康経営優良法人2023（大規模法人部門）」に続き、今年で3年連続の認定となります。生活習慣病・メンタルヘルス・女性の健康課題などの主要項目を中心に、会社・従業員・従業員の家族が一体となって健康づくりに取り組める環境を整備してまいります。



## サステナビリティ

### ENEOS株式会社と 連携協定書を締結

当社が全国に展開する店舗において発生した廃食油を、持続可能な航空燃料（SAF）の原料として活用する取り組みに関する基本合意書を締結しました。



### 『焼肉きんぐ』2店舗で太陽光発電設備を導入

『焼肉きんぐ』の船橋宮本店（千葉県船橋市）とふじみ野店（埼玉県ふじみ野市）において、当社初となる太陽光パネルを計207枚設置いたしました。発電した電気は当該店舗の運営に充てること、CO<sub>2</sub>排出量を削減します。



### 廃棄グラスで リサイクルボールペンを製作

コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社の協力のもと、当社が全国に展開する店舗において発生した廃棄プラスチックグラスを、ボールペンにリサイクルする取り組みを開始しました。



### 豊橋市と災害協定を締結

「災害時における駐車場の利用および物資の提供に関する協定」を愛知県豊橋市と締結しました。災害時には、豊橋市と連携・協力し合い、迅速かつ効果的に支援を行ってまいります。



### 「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」 の構成銘柄に初選定

環境・社会・ガバナンス（ESG）の対応に優れた日本企業の株式のパフォーマンスを示すインデックスの構成銘柄に初めて選出されました。



### 令和6年能登半島地震被災地支援活動を実施

被災者の皆様に温かく美味しいお食事を提供したいという想いから、石川県七尾市の避難所にて、2日間にわたり炊き出しを行い、『丸源ラーメン』の「熟成醤油ラーメン 肉そば」および『焼きたてのかるび』の「焼きたてのカルビ丼とたっぷり野菜スープセット」の計140食と野菜ジュースを提供しました。



### グリーン電力を使用した冠試合を開催

「B.LEAGUE CHAMPIONSHIP 2023-24」において、5月12日（日）に物語コーポレーションプレゼンツ「三遠ネオフェニックス VS 広島ドラゴンフライズ」を温室効果ガス排出量ゼロゲームとして開催しました。



## ■ 配当・株主優待

連結配当性向20%以上を目安とし、持続的な利益成長を通じて、安定的・持続的な増配を原則とする累進配当を目指してまいります。

### 配当

16期連続増配を達成

年間配当金 1株につき **32.0円**

中間配当15.0円 期末配当17.0円

※ 期末配当効力発生日 2024年9月26日（木）

## 株主優待

当社全店舗（『焼きたてのかるび』を除く）でご利用いただける「株主様お食事ご優待券」をお届けいたします。

### ●対象となる方

毎年6月30日現在および12月31日現在の株主名簿、並びに実質株主名簿に記載または記録された1単元（100株）以上の株式を保有いただいている株主様を対象といたします。

### ●贈呈時期（予定）

- ① 毎年 6月30日基準 → 毎年9月下旬頃
- ② 毎年 12月31日基準 → 毎年3月中旬頃

### ●ご優待券の有効期限

発行日から1年間

### ●優待内容

所有株式数

お食事ご優待券

100株以上 3,500円相当（年間7,000円分）



## 株主メモ

|                         |                                                                                                                                                              |
|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度                    | 7月1日～翌年6月30日                                                                                                                                                 |
| 期末配当金受領株主確定日            | 6月30日                                                                                                                                                        |
| 中間配当金受領株主確定日            | 12月31日                                                                                                                                                       |
| 定時株主総会                  | 毎年9月                                                                                                                                                         |
| 株主名簿管理人／<br>特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社                                                                                                                                                |
| 同連絡先 <small>(注)</small> | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>東京都府中市日鋼町1-1<br>電話 0120-232-711（通話料無料）<br>郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部                                          |
| 上場証券取引所                 | 東京証券取引所プライム市場                                                                                                                                                |
| 公告の方法                   | 電子公告により行う<br>公告掲載URL <a href="https://www.monogatari.co.jp/">https://www.monogatari.co.jp/</a><br>(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。) |

### ■ ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ホームページのご案内

当社に関する情報は、ホームページよりご確認くださいませ。

[URL]

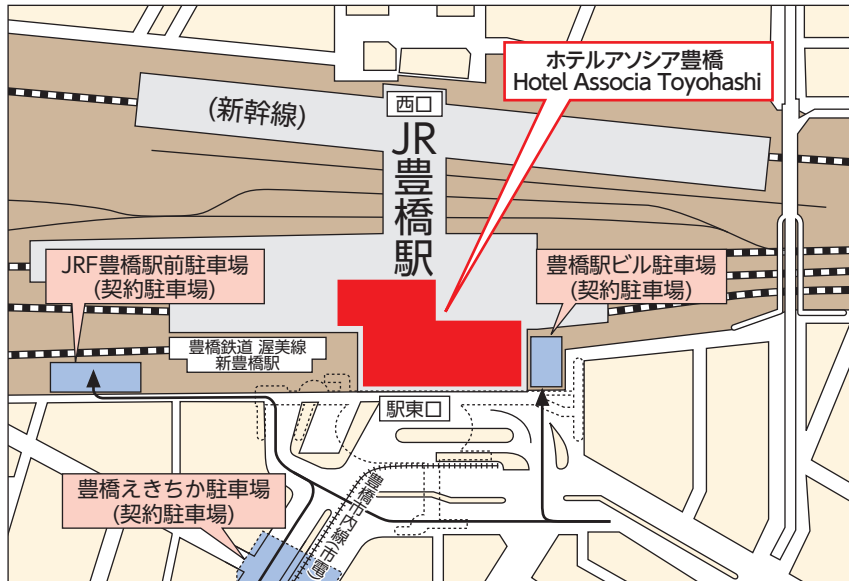
<https://www.monogatari.co.jp/>



# 株主総会会場ご案内図

会場：愛知県豊橋市花田町西宿

ホテルアソシア豊橋 5階「ザ ボールルーム」



交通：ＪＲ東海道本線、名鉄本線「豊橋駅」に隣接

ご来場に際してのお願い：会場周辺には公共駐車場等もございますが、当日は大変混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。